



取 付 説 明 書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。
取付けは必ず専門業者に依頼してください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商品名	G Tスーパーチャージャーシステム プロキット
用途	自動車専用部品
コードNo.	12001-AN008
取付説明書品番	E04215-N53174-00 Ver. 3-3. 05
メーカー車種	ニッサン フェアレディ Z (UA-Z33・CBA-Z33)
エンジン型式	VQ35DE
対応年式	2002/07～2007/01
備考	○本製品取付けにあたり、別途HKS GTスーパーチャージャープーリーおよび S/C 駆動用ベルトをお客様でご用意いただく必要があります。(詳細は 39 ページ参照) ○本製品を使用してのエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。 ○本キットにはHKS GTスーパーチャージャー本体保証が適用されます。 ○エンジンオイルは高温粘度 40 以上を推奨します。 ○取付け後は、燃料および点火系のリセッティングを必ず行ってください。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3. 01	2016/03	初版
3-3. 02	2017/06	S/C 駆動ベルト記載事項
3-3. 03	2018/08	アイドラープーリーNo.1・No.2 誤記訂正
3-3. 04	2021/12	構成部品の変更
3-3. 05	2024/09	記載事項変更

2024 年 09 月 10 日発行 (禁無断複写、転載) ㈱エッチ・ケー・エス

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	1
パーツリスト	2
1. ノーマルパーツの取外し	6
2. ノーマルパーツの移動・交換・加工	8
3. S/C ブラケットの取付け	15
4. アイドラープーリーの取付け	18
5. インタークーラーの取付け	20
6. トラクションフルードタンク・フルードクーラーコアの取付け	23
7. スーパーチャージャーの取付け	29
8. インタークーラーインパイプの取付け	32
9. サクションパイプの取付け	34
10. インタークーラーアウトパイプの取付け	36
11. S/C プーリー&ベルトの取付け	39
12. ノーマルパーツの取付け	41
13. トラクションフルードの注入	42
14. 取付け後の確認	43

はじめに

この度は、HKS GTスーパーチャージャーシステムをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。

取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。

本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解した上で作業を行ってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行わないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害については当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業者又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	スーパーチャージャー本体 Assy	1	GTS8555
2	トラクションオイルクーラー	1	
3	トラクションオイルタンク	1	
4	トラクションフルード	1	
5	ホースクランプ φ10	8	
6	ホースクランプ φ8	4	
7	オイルタンクブラケット	1	
8	オイルクーラーブラケット No. 1	1	
9	オイルクーラーブラケット No. 2	1	
10	オイルフィルターブラケット	1	
11	トラクションホース Assy φ10	1	オイルフィルター付
12	トラクションホース φ8	1	
13	コルゲートチューブ CTUB15	1	外径φ19.5 L=4000mm
14	S/C ブラケット No. 1	1	
15	S/C ブラケット No. 2	1	
16	S/C ブラケットスペーサー	1	
17	スペーサーNo. 1	7	φ14 - φ6.5 - L14.8
18	スペーサーNo. 2	1	φ12 - φ6.5 - L57.8
19	スペーサーNo. 3	1	φ14 - φ6.5 - L39.8
20	アイドラープーリーNo. 2	1	φ108
21	アイドラープーリーNo. 1	1	φ115-φ102
22	アイドラープーリーベアリング Assy	1	
23	テンショナープーリー	1	φ84
24	テンショナースペーサー	1	
25	テンショナーシャフト	1	
26	テンショナーアジャスター	1	
27	テンショナーボルト	1	

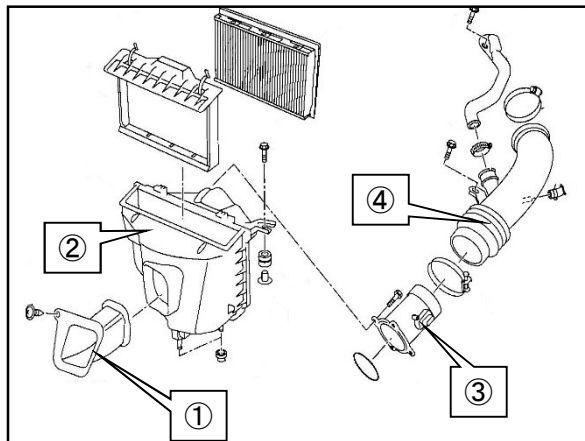
28	ベルト 6PK 1700	1	
29	パワーステアリングポンプブラケットボルト	1	
30	ウォーターホースブラケット No. 1	1	
31	ウォーターホースブラケット No. 2	1	
32	ウォーターホースブラケット No. 3	1	
33	ブラケット CVTC ソレノイドバルブ	1	
34	インタークーラー	1	
35	インタークーラーブラケット No. 1	2	
36	インタークーラーブラケット No. 2	1	
37	外気温センサーブラケット	1	
38	I/C インレットホース	1	
39	I/C インレットパイプ No. 1	1	
40	I/C インレットパイプ No. 2	1	
41	I/C アウトレットホース	1	
42	I/C アウトレットパイプ No. 1	1	
43	I/C アウトレットパイプ No. 2	1	
44	ブローオフバルブ	1	
45	ホース $\phi 4$	1	L=1000mm
46	ジョイントパイプ $\phi 4-\phi 6$	1	
47	シリコンホース $\phi 35$	2	L=70mm
48	I/C インレットパイプブラケット No. 1	1	
49	I/C インレットパイプブラケット No. 2	1	
50	パワステクーラーブラケット	2	
51	ジョイントパイプ $\phi 10$	2	
52	エアクリーナー	1	$\phi 200-70$ 赤
53	サクションパイプ No. 1	1	
54	サクションパイプ No. 2	1	
55	サクションパイプ No. 3	1	
56	リストラクター	1	$\phi 48$

57	S/C インレットガスケット	2	1 枚は S/C 箱付属
58	シリコンホース $\phi 70$	6	L=60mm
59	異径シリコンホース $\phi 60-\phi 70$	1	
60	異径シリコンホース $\phi 70-\phi 80$	1	
61	ホースバンド#48	1	
62	ホースバンド#44	16	
63	ホースバンド#36	3	
64	ホースバンド#16	4	
65	ポップナット	5	
66	タイラップ(小)	20	
67	タイラップ(中)	20	
68	タイラップ(大)	10	
69	スポンジシート	3	50mm $\times$ 50mm $\times$ 3mm
70	スポンジ	1	
71	ホース $\phi 6$	1	L=500mm
72	サクションホース	1	$\phi 16$
73	ホースクランプ $\phi 16$	2	
74	ジョイントパイプ $\phi 16$	1	
75	コルゲートチューブ CTUB10	1	外径 $\phi 14.1$ L=250mm
76	コルゲートチューブ CTUB5	1	外径 $\phi 7.5$ L=1000mm
77	キャップボルト M4 L12	2	
78	キャップボルト M6 L12	2	
79	低頭キャップボルト M6 L12	5	S/C 箱付属
80	キャップボルト M6 L15	2	
81	キャップボルト M6 L18	4	
82	キャップボルト M6 L20	10	
83	キャップボルト M6 L100	3	
84	キャップボルト M8 L15	4	
85	キャップボルト M8 L20	3	

86	キャップボルト M8 L25	5	
87	キャップボルト M12 L120	1	
88	皿ボルト M8 L40	3	
89	キャップボルト M8 L16	6	
90	ボタンボルト M6 L15	4	
91	ボタンボルト M6 L60	6	
92	フランジボルト M6 L15	2	
93	フランジボルト M6 L25	2	
94	六角ボルト M6 L15	1	
95	六角ボルト M8 L20	3	
96	フランジナット M6	7	
97	フランジナット M8	2	
98	フランジナット M10	1	
99	セルフロックナット M6	4	
100	スペーサーM4	2	
101	プレーンワッシャーM6	23	
102	大径ワッシャーM6	13	
103	プレーンワッシャーM12	1	
104	プレーンワッシャーM8	21	
105	プレーンワッシャーM10	1	
106	S/P ワッシャーM6	4	
107	S/P ワッシャーM8	6	
108	取付説明書	1	本書
109	取扱説明書	1	

1. ノーマルパーツの取外し

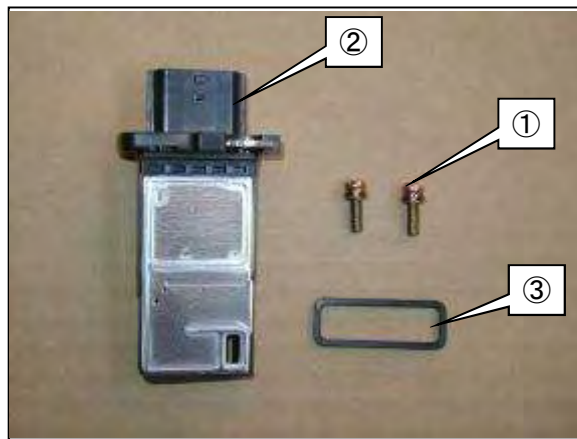
- (1) バッテリーのマイナス端子接続を取外してください。
- (2) エンジンアンダーカバーを取外してください。
- (3) エンジンカバーを取外してください。
- (4) ①のエアダクト, ②エアクリーナー, ③エアフロメーター, ④エアホースを取外してください。



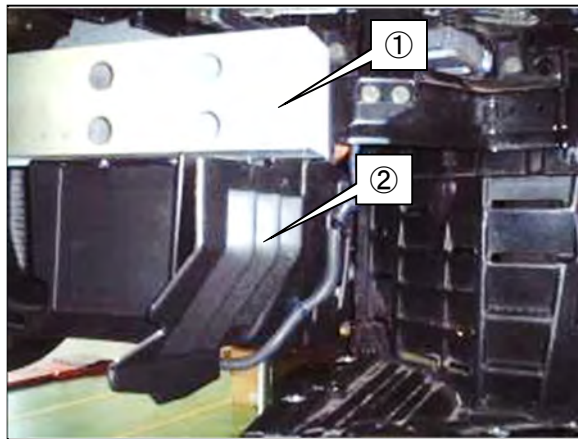
- (5) (4) で外したエアフロメーターから、①スクリュ, ②センサー部, ③ゴムパッキンを取外してください。

アドバイス

- ・ ①スクリュ, ②センサー部, ③ゴムパッキンは再使用します。



- (6) バンパーを取外してください。
- (7) ①のバンパーレイnfォースを取外してください。
- (8) ②のエアダクトカバー(左)を取外してください。

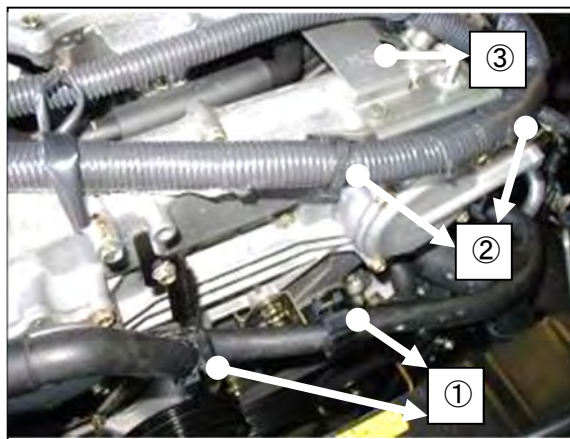


- (9) ①のホースクリップを取外してください。

アドバイス

- ・ ①のホースクリップは再使用します。

- (10) ②のハーネスクランプ, ③のハーネスステーを取外してください。

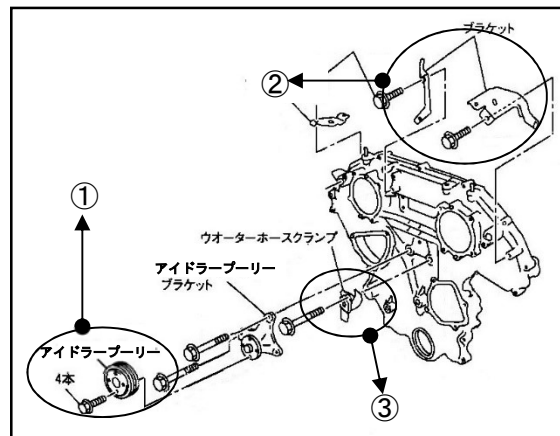


- (11) ①アイドラープーリーのボルト M6 (4 本) をゆるめてください。

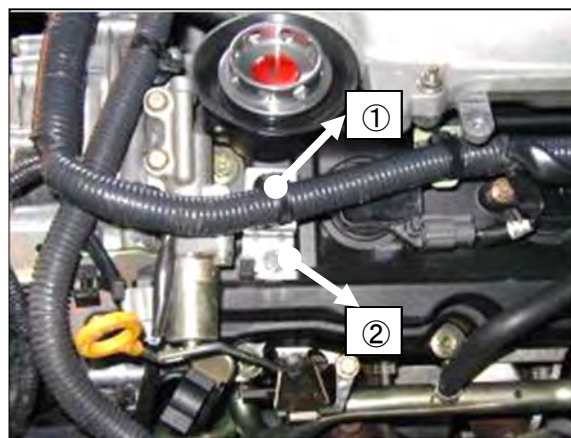
アドバイス

- ・パワステポンプベルトをゆるめる前に作業を行ってください。

- (12) オルタネーター パワステポンプベルトを取外してください。(6 リブ)
- (13) ①のアイドラープーリーを取外してください。
- (14) ②のブラケット (2 個) を取外してください。
- (15) ③のウォーターホースクランプを取外してください。



- (16) 図中①のハーネスクランプを取外してください。
- (17) 図中②のハーネスステーを取外してください。



2. ノーマルパーツの移動・交換・加工

パーツリスト



P20



P29



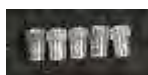
P6



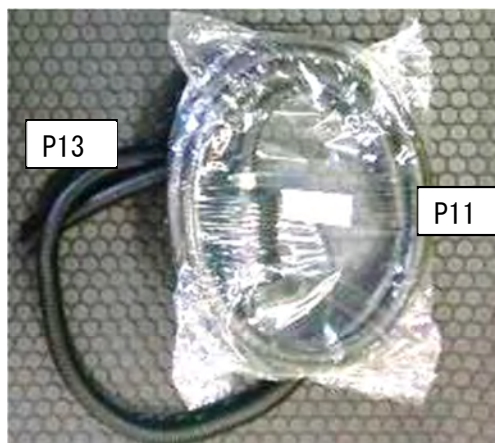
P50



P51



P65



P13

P11

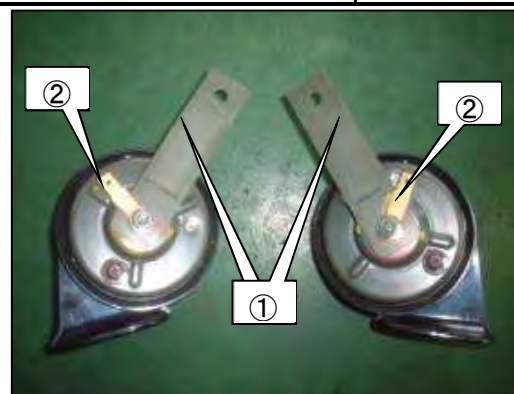
No.	品名	数量
P5	ホースクランプφ10	4
P11	トラクションホース Assy φ10	1
P13	コルゲートチューブ CTUB15	1
P20	アイドラプーリーNo.2	1
P29	パワーステアリングポンプブラケットボルト	1
P50	パワステクーラーブラケット	2
P51	ジョイントパイプφ10	2
P65	ポップナット	5
P75	コルゲートチューブ CTUB10	1
P76	コルゲートチューブ CTUB5	1

(1) ホーン(2個)を取外してください。

アドバイス

- ・ホーン取付けの際にプラスとマイナスを間違えないよう端子とカプラーにマーキングをしてください。接続を誤ると過電流によりホーンのヒューズが切れます。

(2) ①のステーと②の端子の向きを変更してください。

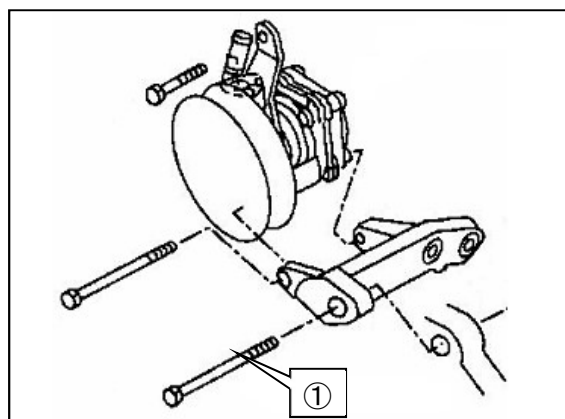


(3) ①のパワステポンプブラケットの純正ボルトをパワーステアリングポンプブラケットボルトに交換してください。

- ・パワーステアリングポンプブラケットボルト (P29)

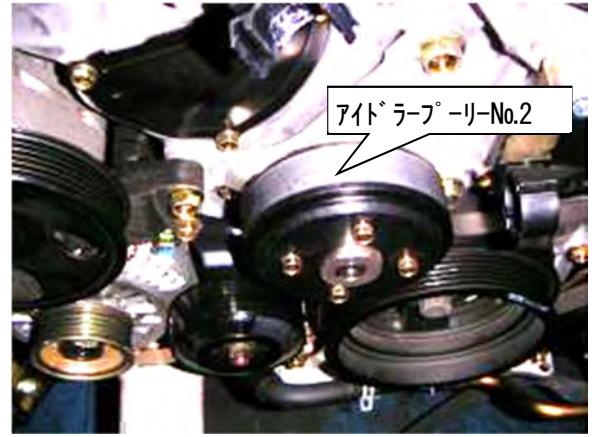
締付けトルク N・m(kgf・m)

T=53.9(5.5)

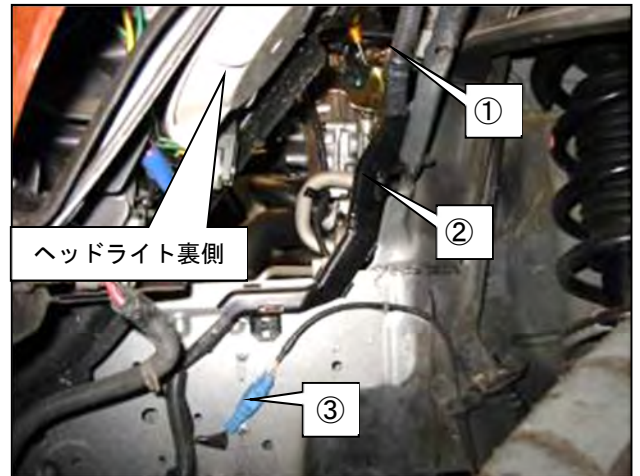
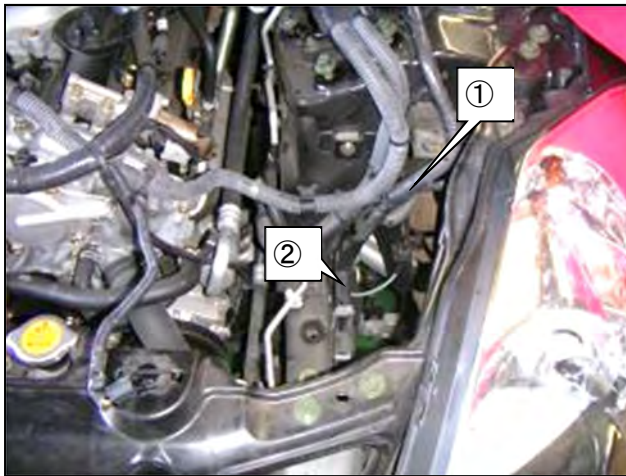


- (4) アイドラープーリーNo.2 を前章 1. (13) で取外したア
イドラープーリーの代わりに、アイドラープーリーブ
ラケットへ仮付けしてください。

- ・ アイドラープーリーNo.2 (φ108) (P20)
- ・ ボルト (純正)

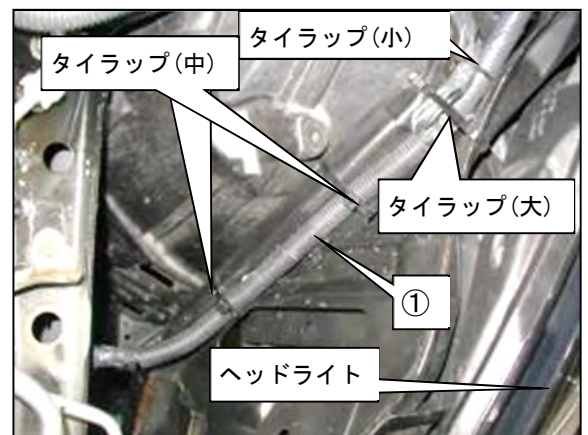


- (5) ①のハーネスから②のハーネスカバーを取外してください。
(6) 車両に固定されている③のカプラーを、車両から取外してください。

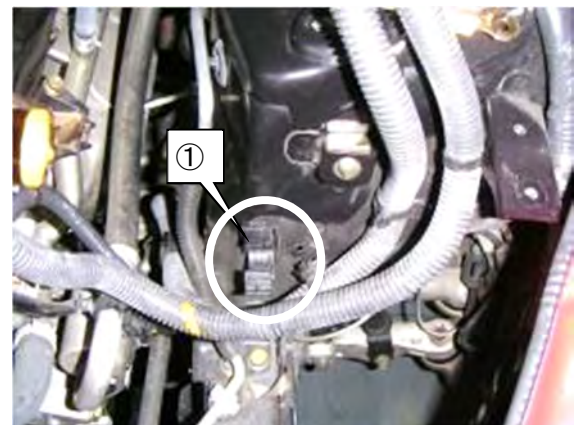


- (7) ①の純正ハーネスにコルゲートチューブをかぶせ、
左側ヘッドライト下のパネルに固定させてください。

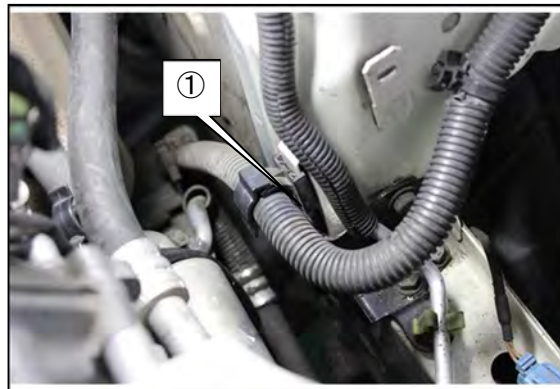
- ・ コルゲートチューブ CTUB10 (P75)
- ・ タイラップ (大) (P68)
- ・ タイラップ (中) (P67)
- ・ タイラップ (小) (P66)



- (8) ①の純正ハーネスのクリップを取外してください。



(9) 図中①のハーネスクランプを取外してください。

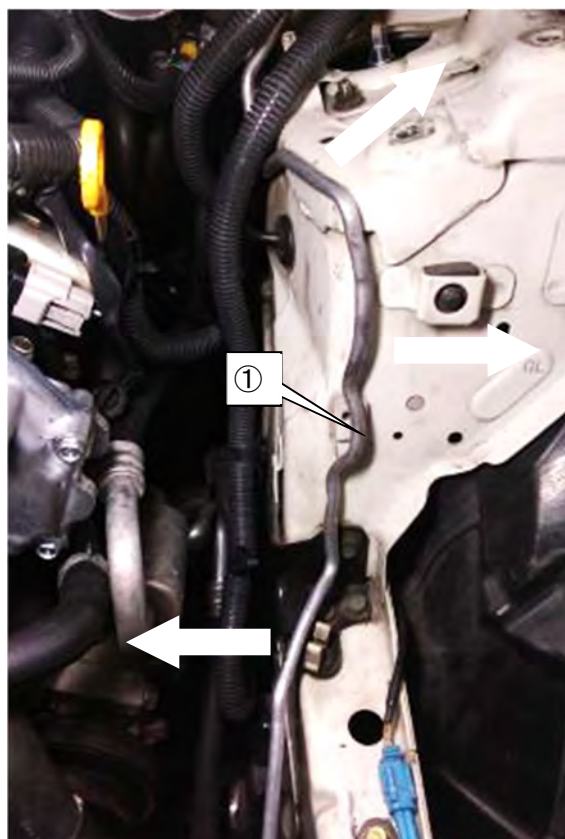


(10) ①のエアコンパイプのクランプを取外してください。



(11) (10) でクランプから切り離した①エアコンパイプを
図の矢印の方向に折り曲げて下さい。
その後、付属のコルゲートチューブを巻きつけてくだ
さい。

・コルゲートチューブ CTUB5 (P76)



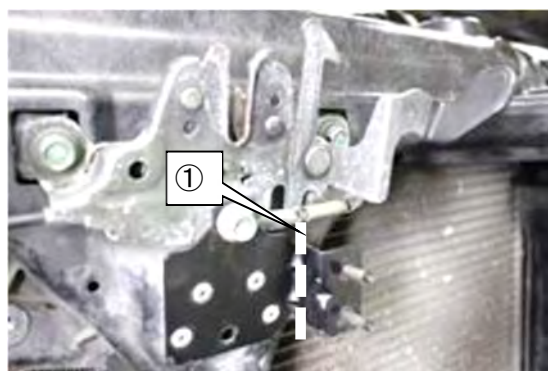
- (12) 図中①のエアコンパイプを図の矢印の方向に折り曲げて
ください。



- (13) ラジエーターコアサポートの○印の部分からハーネス・
コネクター・センサーを取外してください。



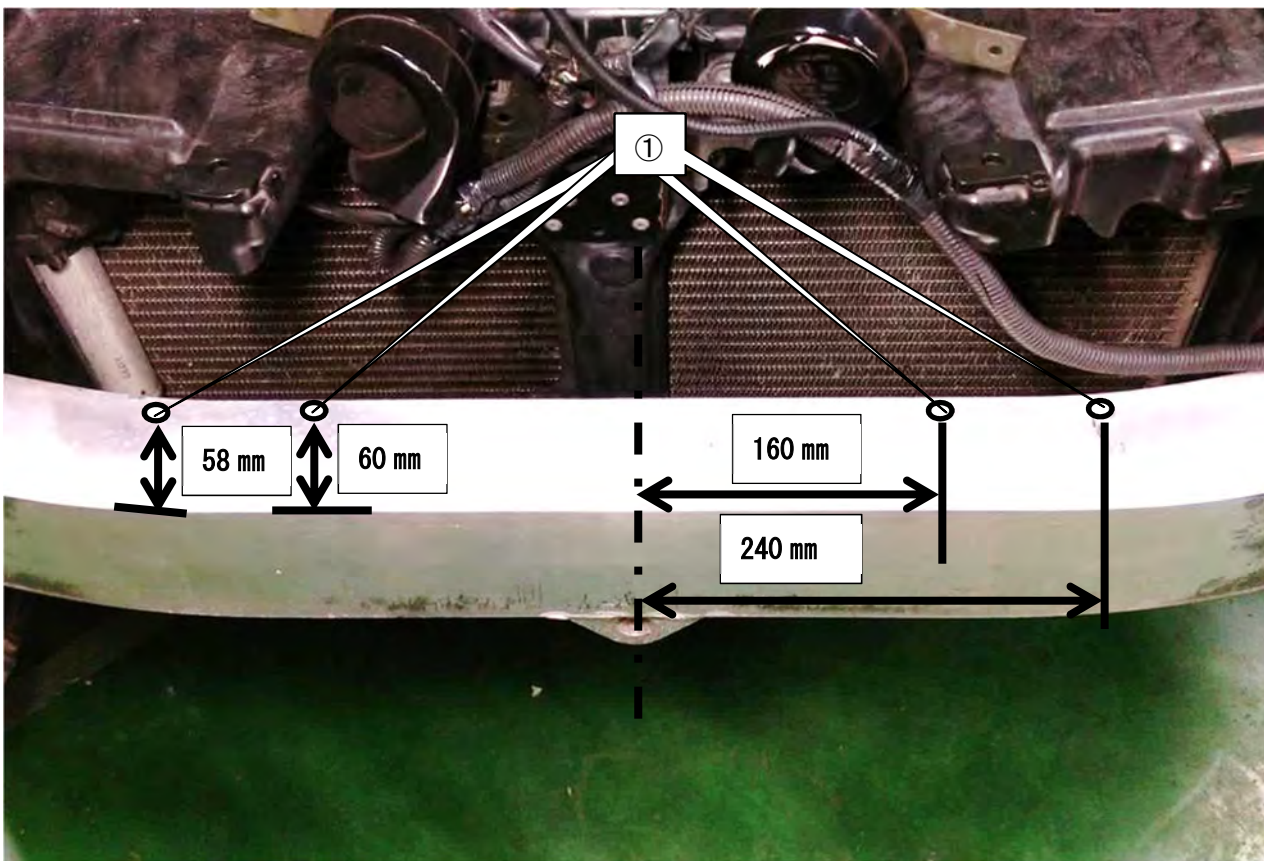
- (14) 図①の点線部から切断加工してください。



(15) 1 章(7)で取り外したバンパーレインフォースへ付属のポップナットを取付けてください。

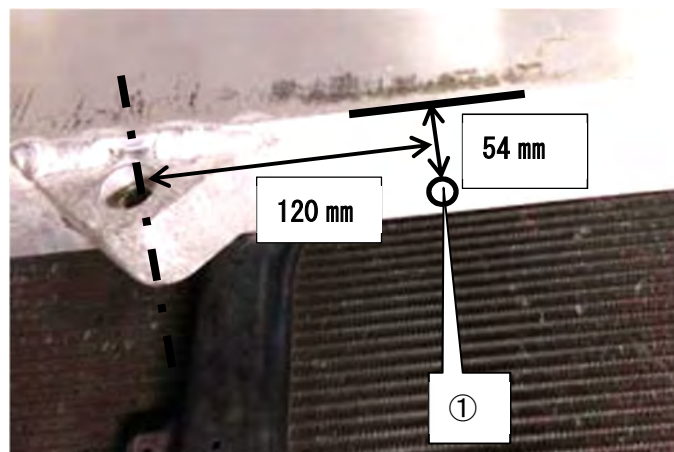
下図①の部分に計 4 か所取付けてください。位置は左右対称に中心から、下図の寸法となります。

- ・ポップナット (P65×4)

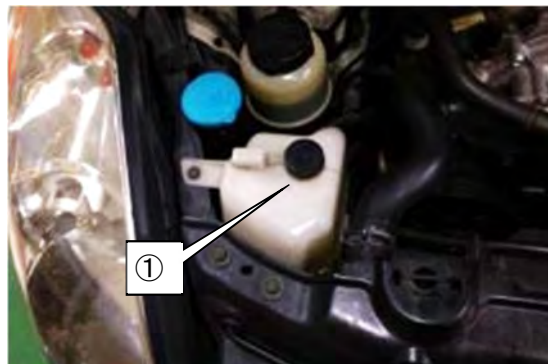


(16) バンパーレインフォース裏側に図①の位置にポップナットを取付けてください。

- ・ポップナット (P65)



(17) 図①ラジエーターリザーブタンクを取外してください。

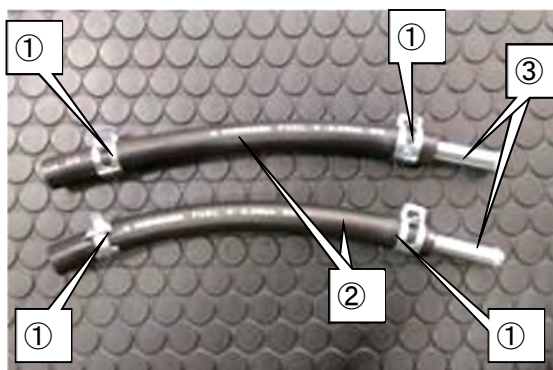


(18) P/S クーラーのパイプを図の矢印の位置で取り外し、
P/S クーラーを車体から取外して下さい。



(19) 付属の②トラクションホース Assyφ10 を 240 mm に 2 本
カットし、①ホースクランプφ10 と③ジョイントパイプ
φ10 を取付けてください。

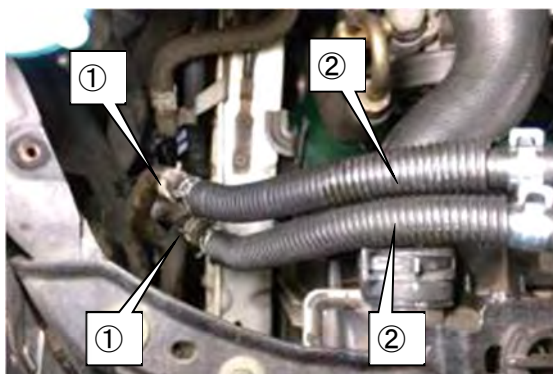
- ・ホースクランプφ10 (P5×4)
- ・トラクションホース Assyφ10 (P11)
- ・ジョイントパイプφ10 (P51×2)



(20) (18)で取り外した①P/S ホースに(19)で組立てた②トラ
クションホースを取付けてください。

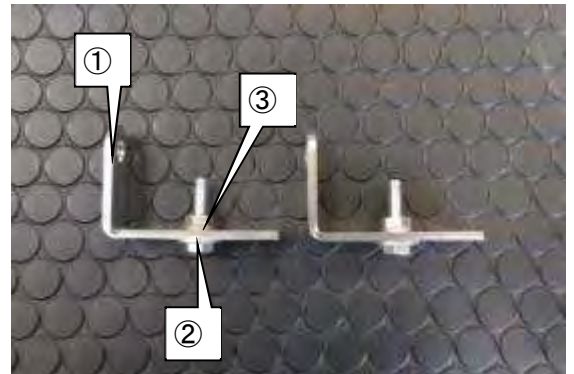
その後、付属のコルゲートチューブを適当な長さにカッ
トし、トラクションホースに取付けてください。

- ・コルゲートチューブ CTUB15 (P13)



(21) 付属の①パワステクーラーブラケットに②フランジボルト、③フランジナットを取付けてください。

- ・パワステクーラーブラケット (P50×2)
- ・フランジボルト M6 L25 (P93×2)
- ・フランジナット M6 (P96×2)

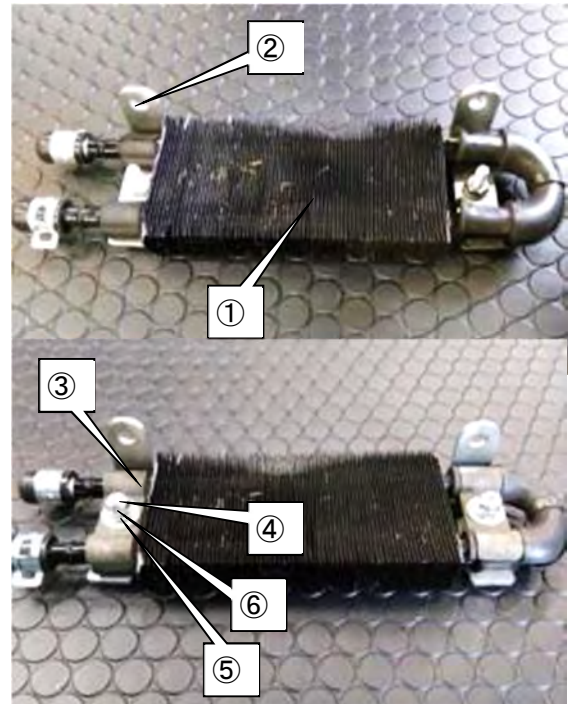


(22) (18) で取り外した①パワステクーラーを (21) で組立てた②パワステクーラーブラケットと③純正ブラケットにて挟み込み、④セルフロックナット、⑤大径ワッシャー、⑥S/P ワッシャーを使用して取付けてください。

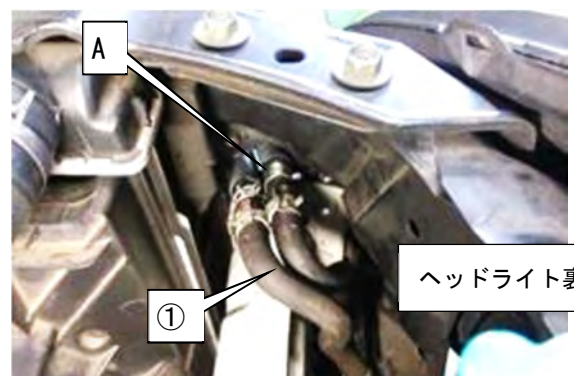
- ・セルフロックナット M6 (P99×2)
- ・大径ワッシャーM6 (P102×2)
- ・S/P ワッシャーM6 (P106×2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=9.5 (0.97)

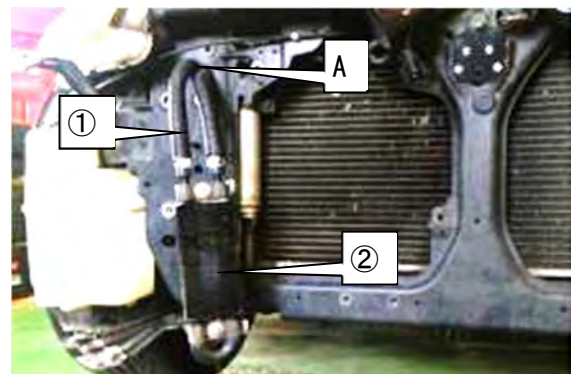


(23) (20) で取り付けた①パワステクーラーホースをラジエーターコアサポートの穴 A 部へ通してください。
A 部を通した①パワステクーラーホースを (22) で組立てた②パワステクーラーに取付けてください。



(24) ラジエーターリザーブタンクを取付けてください。

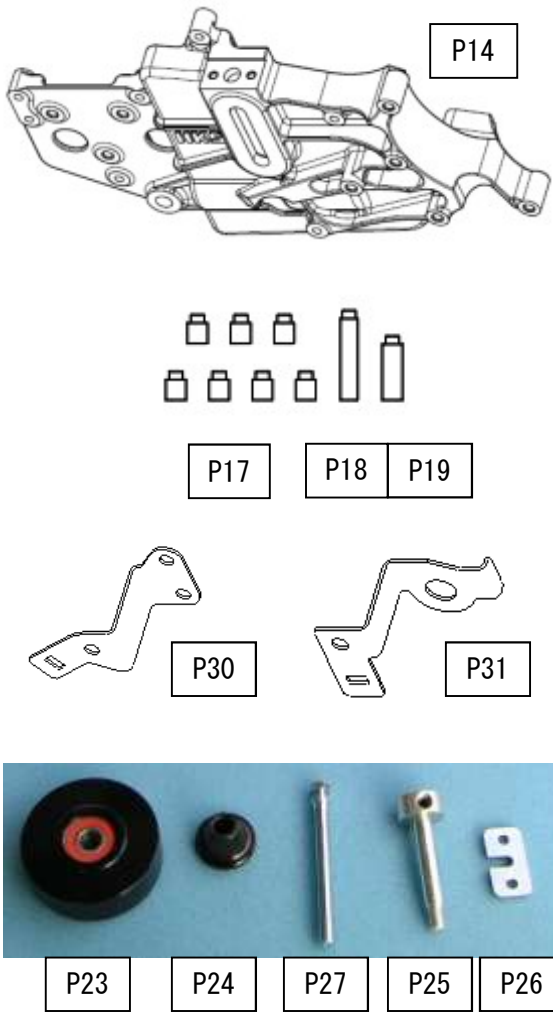
(25) バンパーレインフォースを取付けてください。



3. S/C ブラケットの取付け

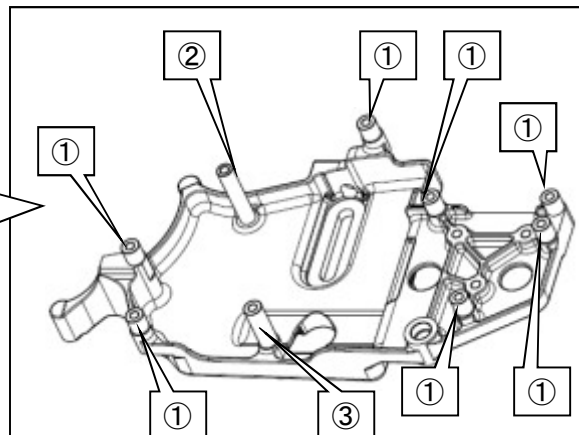
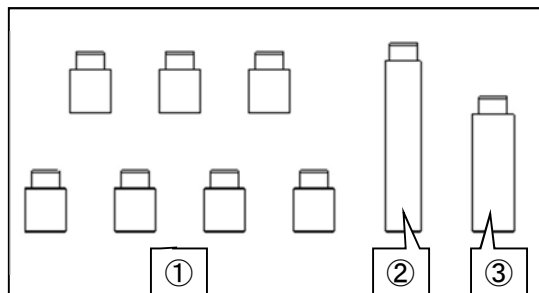


パーツリスト

パーツリスト			
	No.	品名	数量
	P14	S/C ブラケット No. 1	1
	P17	スペーサーNo. 1 (φ14 - φ6.5 - L14.8)	7
	P18	スペーサーNo. 2 (φ12 - φ6.5 - L57.8)	1
	P19	スペーサーNo. 3 (φ14 - φ6.5 - L39.8)	1
	P23	テンショナープーリー (φ84)	1
	P24	テンショナースペーサー	1
	P25	テンショナーシャフト	1
	P26	テンショナーアジャスター	1
	P27	テンショナーボルト	1
	P30	ウォーターホースブラケットNo.1	1
	P31	ウォーターホースブラケットNo.2	1
	P83	キャップボルト M6 L100	3
	P87	キャップボルト M12 L120	1
	P90	ボタンボルト M6 L15	2
	P91	ボタンボルト M6 L60	6
	P98	フランジ付きナット M10	1
	P101	プレーンワッシャーM6	9
	P105	プレーンワッシャーM10	1
	P103	プレーンワッシャーM12	1

(1) S/C ブラケット No. 1 にスペーサーを圧入してください。

- ・ S/C ブラケット No. 1 (P14)
- ・ スペーサーNo.1 (φ14 - φ6.5 - L14.8) (P17×7)
- ・ スペーサーNo.2 (φ12 - φ6.5 - L57.8) (P18)
- ・ スペーサーNo.3 (φ14 - φ6.5 - L39.8) (P19)

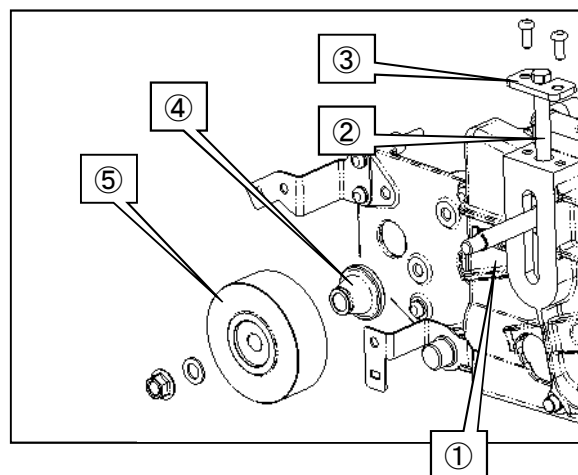


(2) ①のテンショナーシャフト, ②のテンショナーボルト, ③のテンショナーアジャスターを取付けてください。

- ・ テンショナーシャフト (P25)
- ・ テンショナーアジャスター (P26)
- ・ テンショナーボルト (P27)
- ・ ボタンボルト M6 L15 (P90×2)

(3) ④のテンショナースペーサー, ⑤のテンショナープーリーを①のテンショナーシャフトへ仮付けしてください。

- ・ テンショナープーリー (φ84) (P23)
- ・ テンショナースペーサー (P24)
- ・ フランジ付きナット M10 (P98)
- ・ プレーンワッシャーM10 (P105)



(4) 矢印部分のボルト(純正 10 本)を取外してください。

アドバイス

- ・ 35th 記念モデル及び 2005 年 11 月以降のMT車の場合も同位置のボルトを取外してください。



- (5) S/C ブラケット No. 1 をエンジンに取付けてください。
その際、①のボルトをブラケットNo.1 と共締め、④の
ボルトをブラケットNo.2 と共締めしてください。

- ・ウォーターホースブラケットNo.1 (P30)
- ・ウォーターホースブラケットNo.2 (P31)
- ・キャップボルト M6 L100 (P83×3)
- ・キャップボルト M12 L120 (P87)
- ・ボタμβボルト M6 L60 (P91×6)
- ・プレーンワッシャーM6 (P101×9)
- ・プレーンワッシャーM12 (P103)

図中①②

(ボタμβボルト M6 L60, プレーンワッシャーM6)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=11.7~13.7(1.2~1.4)

図中③

(キャップボルト M6 L100, プレーンワッシャーM6)

締付けトルク N・m(kgf・m)

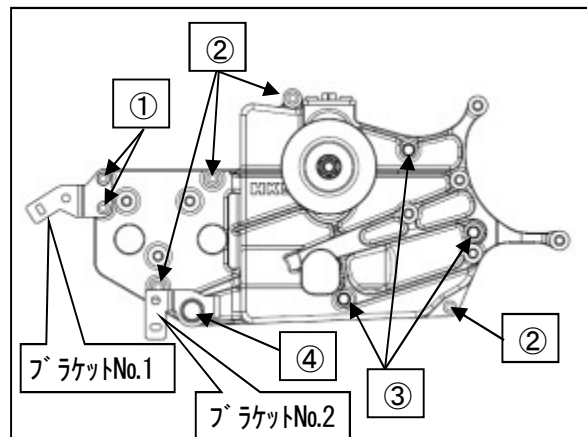
T=11.7~13.7(1.2~1.4)

図中④

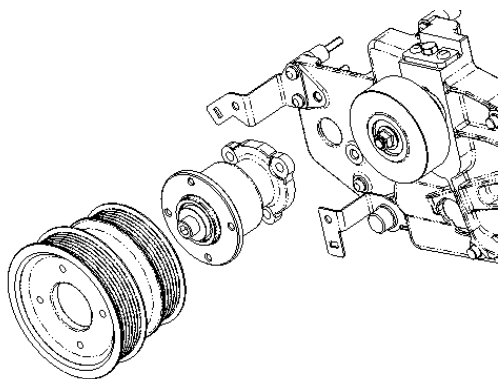
(キャップボルト M12 L120, プレーンワッシャーM12)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=68.6~79.4(7.0~8.1)



4. アイドラープーリーの取付け

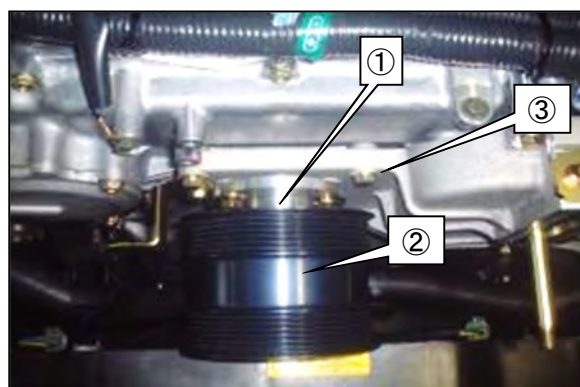


パーツリスト

	No.	品名	数量
  P21  P22			
	P21	アイドラープーリーNo.1 (φ115-φ102)	1
	P22	アイドラープーリーベアリング Assy	1
	P28	ベルト 6PK 1700	1
	P32	ウォーターホースブラケットNo.3	1
	P95	六角ボルト M8 L20	3
	P78	キャップボルト M6 L12	2
	P81	キャップボルト M6 L18	4
	P96	フランジ付きナット M6	2
	P101	プレーンワッシャー-M6	6
	P104	プレーンワッシャー-M8	3

- (1) ①のベアリング Assy に②のアイドラープーリーNo.1 を被せた状態で、ベアリング Assy を③の S/C ブラケット No. 1 に取付けてください。
- ・アイドラープーリーNo.1 (φ115-φ102) (P21)
 - ・ベアリング Assy (P22)
 - ・六角ボルト M8 L20 (P95×3)
 - ・プレーンワッシャー-M8 (P104×3)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=19.6~24.5(2.0~2.2)

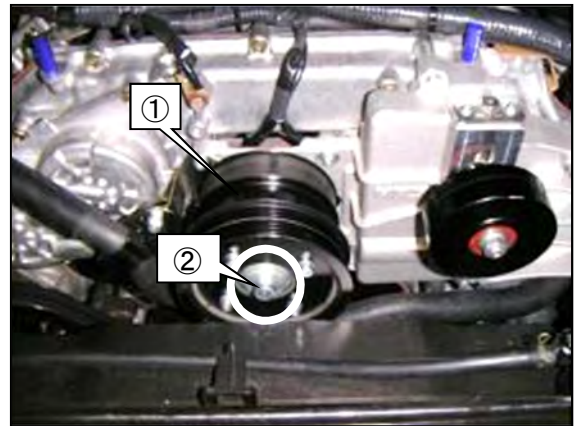


アドバイス

- ・ベアリング Assy のみ先に取付けた場合、後からアイドラープーリーNo.1 を取付けることはできません。

- (2) ①のアイドラープーリーNo.1 をベアリング Assy に取付けてください。
キャップボルト M6 L18 を締め付ける際、ベアリング ASSY のキャップボルト M10 (図中②) に六角レンチ (8mm) を掛け、周り止めをした状態でトルクを掛けてください。
- ・キャップボルト M6 L18 (P81×4)
 - ・プレーンワッシャーM6 (P101×4)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=11.7~13.7(1.2~1.4)



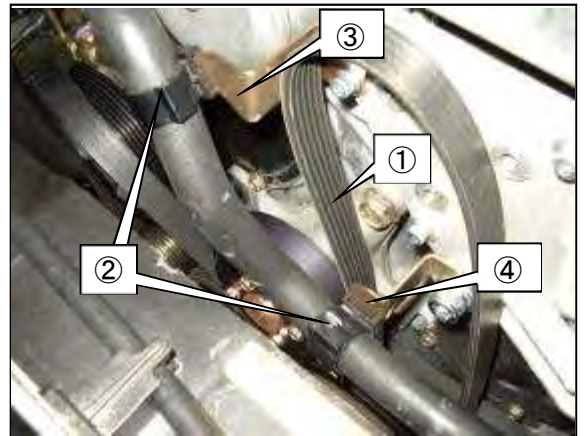
注意

- ・キャップボルト M6 L18 の本締めは必ずここで行ってください。次で取付けるベルト 6PK1700 を取付けた後に本締めを行った場合、適切な締付け力が得られず、キャップボルト M6 L18 が破損し、運転中にアイドラープーリーNo.1 が脱落する可能性があります。
- ・必ずトルクレンチを使用してボルトの締付けを行ってください。締付け力が不足または高すぎた場合、キャップボルト M6 L18 が破損し、運転中にアイドラープーリーNo.1 が脱落する可能性があります。

- (3) ①のベルト 6PK 1700 をアイドラープーリーNo.1 に取付けてください。
- ・ベルト 6PK 1700 (P28)

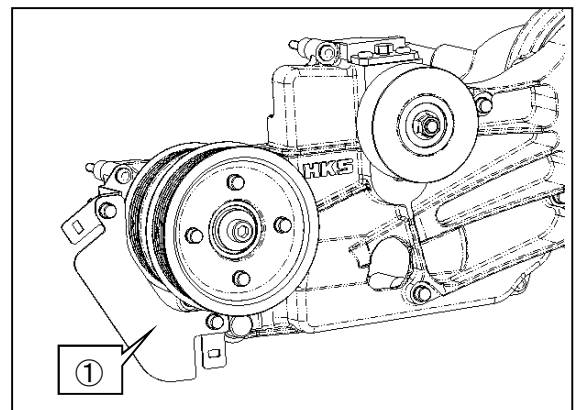
アドバイス

- ・ウォーターホースの固定後、ベルト 6PK 1700 をアイドラープーリーNo.1 にかけることはできません。



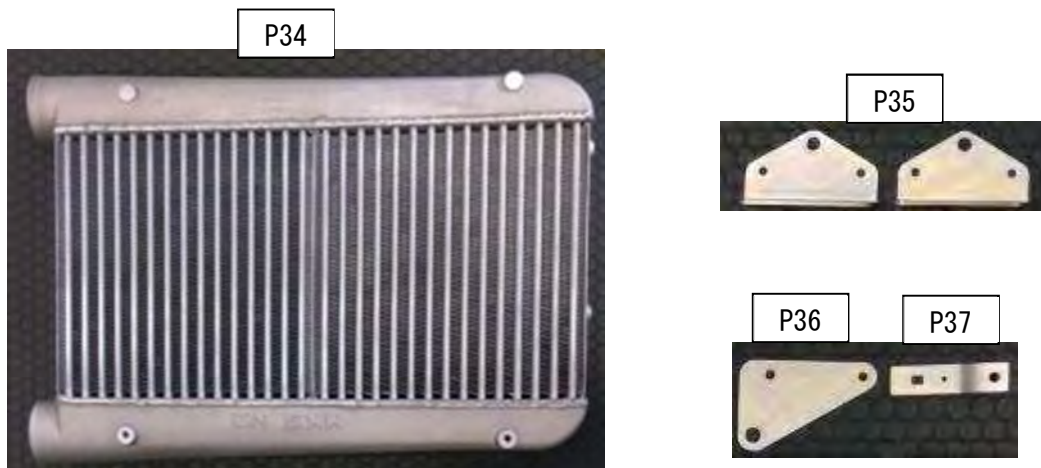
- (4) ①のウォーターホースブラケットNo.3 を取付けてください。
- ・ウォーターホースブラケットNo.3 (P32)
 - ・キャップボルト M6 L12 (P78×2)
 - ・フランジ付きナット M6 (P96×2)
 - ・プレーンワッシャーM6 (P101×2)

- (5) 上図②のウォーターホースのクリップを
③のウォーターホースブラケットNo.1、
④のウォーターホースブラケットNo.2 に取付けて、
クリップでウォーターホースを固定してください。



5. インタークーラーの取付け

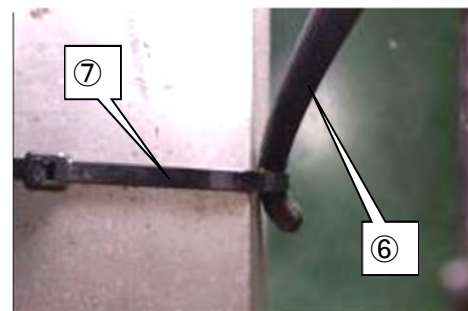
パーツリスト



No.	品名	数量
P34	インタークーラー	1
P35	インタークーラーブラケット No. 1	2
P36	インタークーラーブラケット No. 2	1
P37	外気温センサーブラケット	1
P82	キャップボルト M6 L20	5
P89	キャップボルト M8 L16	2
P85	キャップボルト M8 L20	3
P90	ボタμβボルト M6 L15	2
P92	フランジボルト M6 L15	2
P99	セルフロックナット M6	2
P102	大径ワッシャーM6	9
P104	プレーンワッシャー	5
P106	S/P ワッシャーM6	4
P107	S/P ワッシャーM8	2

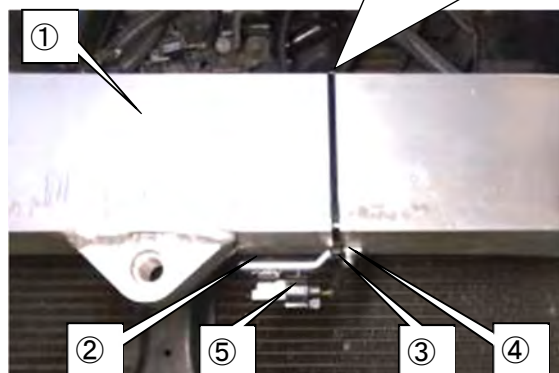
(1) 図①バンパーレインフォースに付属の②外気温センサーブラケットを③キャップボルト、④大径ワッシャーを使用し、取付けてください。

- ・ 外気温センサーブラケット (P37)
- ・ キャップボルト M6 L20 (P82)
- ・ 大径ワッシャーM6 (P102)



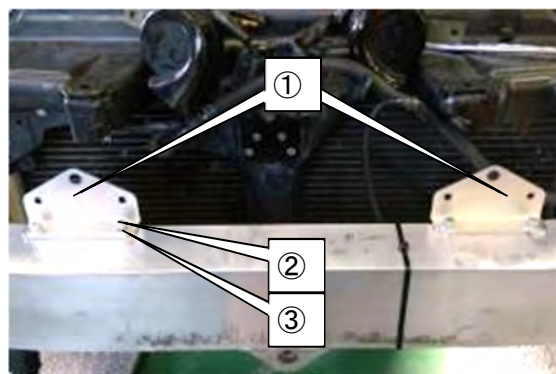
(2) 図⑤外気温センサーを②外気温センサーブラケットに取付け、⑥センサーハーネスを⑦タイラップを使用し、固定してください。

- ・ タイラップ大 (P68×2)



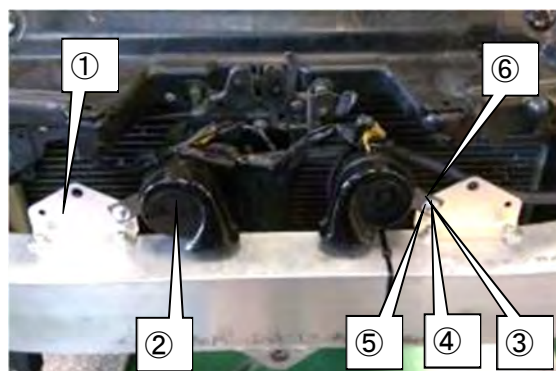
(3) 付属の①インタークーラーブラケット No. 1 を②キャップボルト、③大径ワッシャーを使用して、バンパーレインフォースに仮付けしてください。

- ・ インタークーラーブラケット No. 1 (P35)
- ・ キャップボルト M6 L20 (P82×4)
- ・ 大径ワッシャーM6 (P102×4)



(4) (3) で取付けた①インタークーラーブラケット No. 1 に2章の(1)で取外した②ホーンを③フランジボルト、④大径ワッシャー、⑤S/P ワッシャー、⑥セルフロックナットを使用し、固定してください。

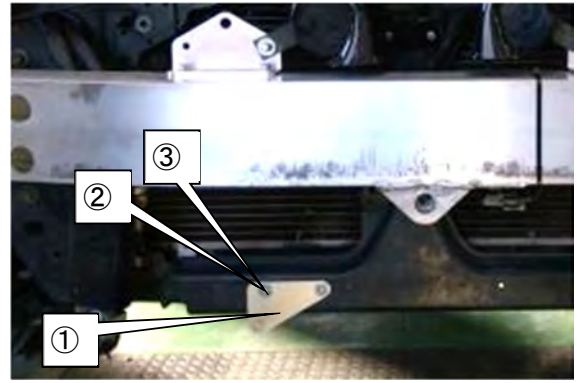
- ・ フランジボルト M6 L15 (P92×2)
- ・ セルフロックナット M6 (P99×2)
- ・ 大径ワッシャーM6 (P102×2)
- ・ S/P ワッシャーM6 (P106×4)



(5) (4) で取付けたホーンにハーネスを接続してください。

(6) 付属の①インタークーラーブラケット No. 2 を②ボタンボルト、③大径ワッシャーを使って、図の位置に固定してください。

- ・ インタークーラーブラケット No. 2 (P36)
- ・ ボタンボルト M6 L15 (P90×2)
- ・ 大径ワッシャーM6 (P102×2)

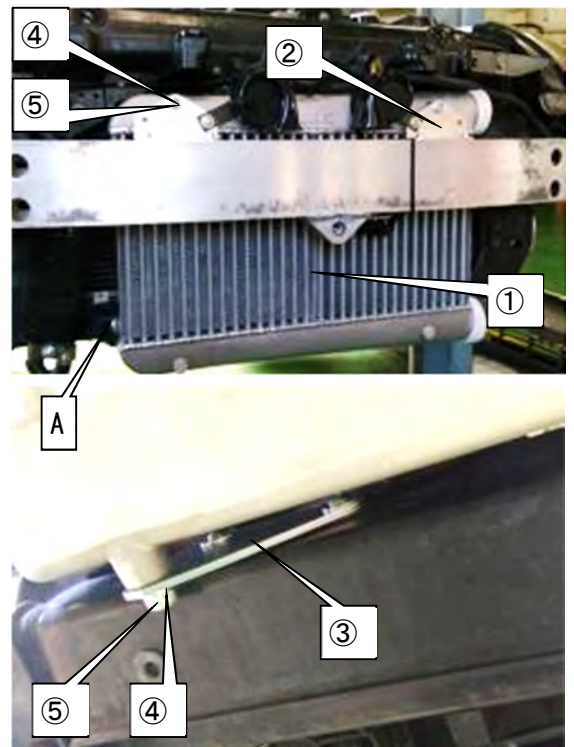


(7) 付属の①インタークーラーを (4), (6) で取付けた②インタークーラーブラケット No. 1、③インタークーラーブラケット No. 2 へ、④キャップボルト、⑤ワッシャーを使い仮付けしてください。

- ・ インタークーラー (P34)
- ・ キャップボルト M8 L20 (P85×3)
- ・ プレーンワッシャーM8 (P104×3)

アドバイス

- ・ インタークーラー横 A 部のボスが下側に来る向きで取付けてください。



(8) 位置を調整し、各部のボルトを本締めしてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

M6 : T=11.5 (1.2)

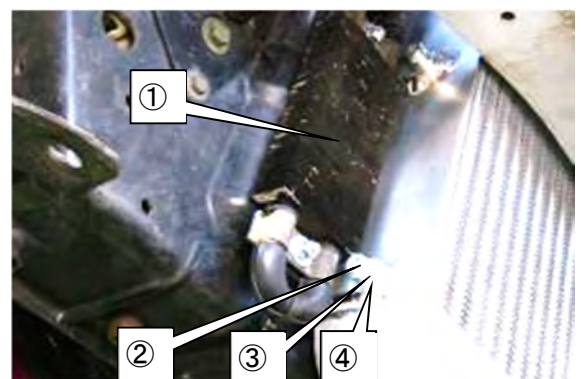
M8 : T=20 (2.0)

(9) ①パワステクーラーをインタークーラーに、②キャップボルト、③S/P ワッシャー、④ワッシャーを使い固定してください。

- ・ キャップボルト M8 L16 (P89×2)
- ・ S/P ワッシャーM8 (P107×2)
- ・ プレーンワッシャーM8 (P104×2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=20 (2.0)

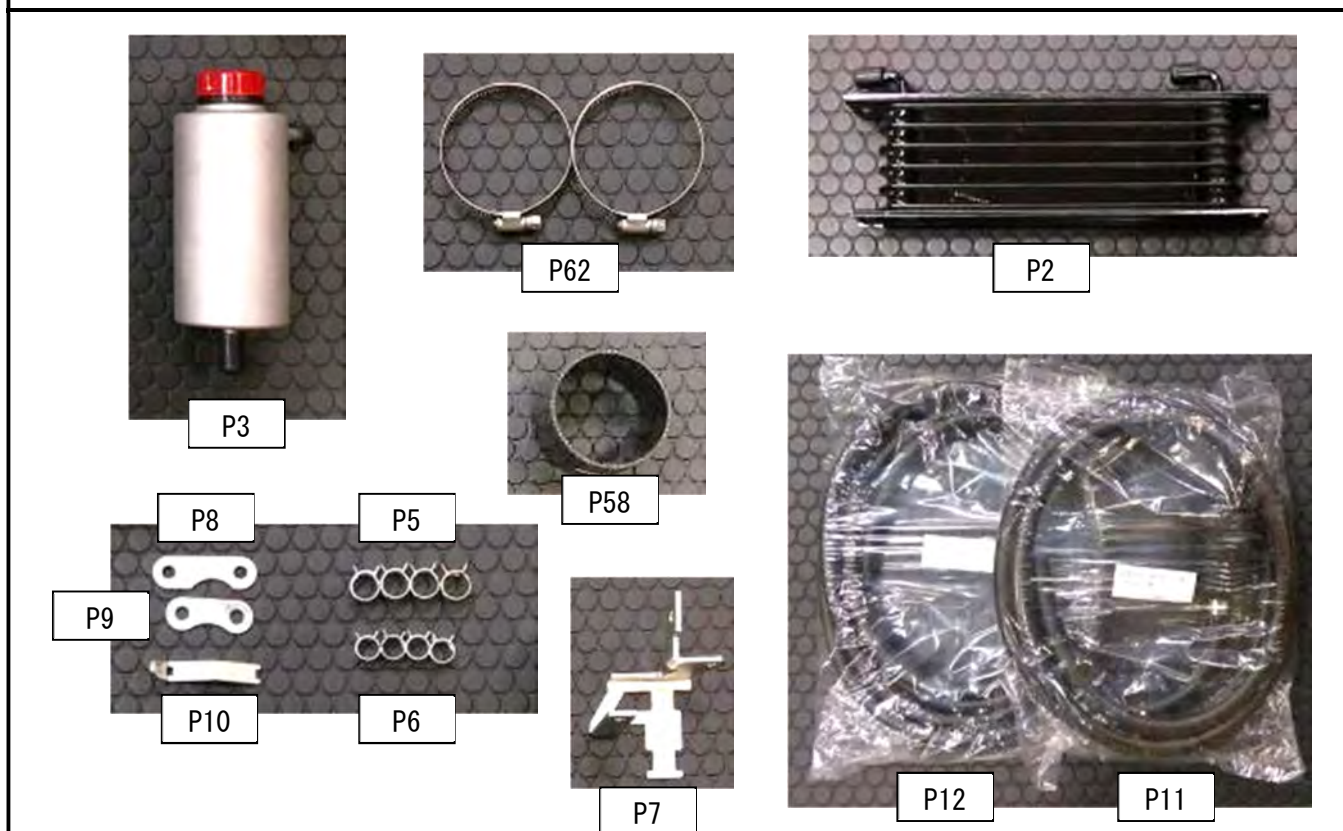


(10) 付属のタイラップを使用し、配線を束ねてください。

- ・ タイラップ中 (P67×2)

6. トラクションフルードタンク・フルードクーラーコアの取付け

パーツリスト

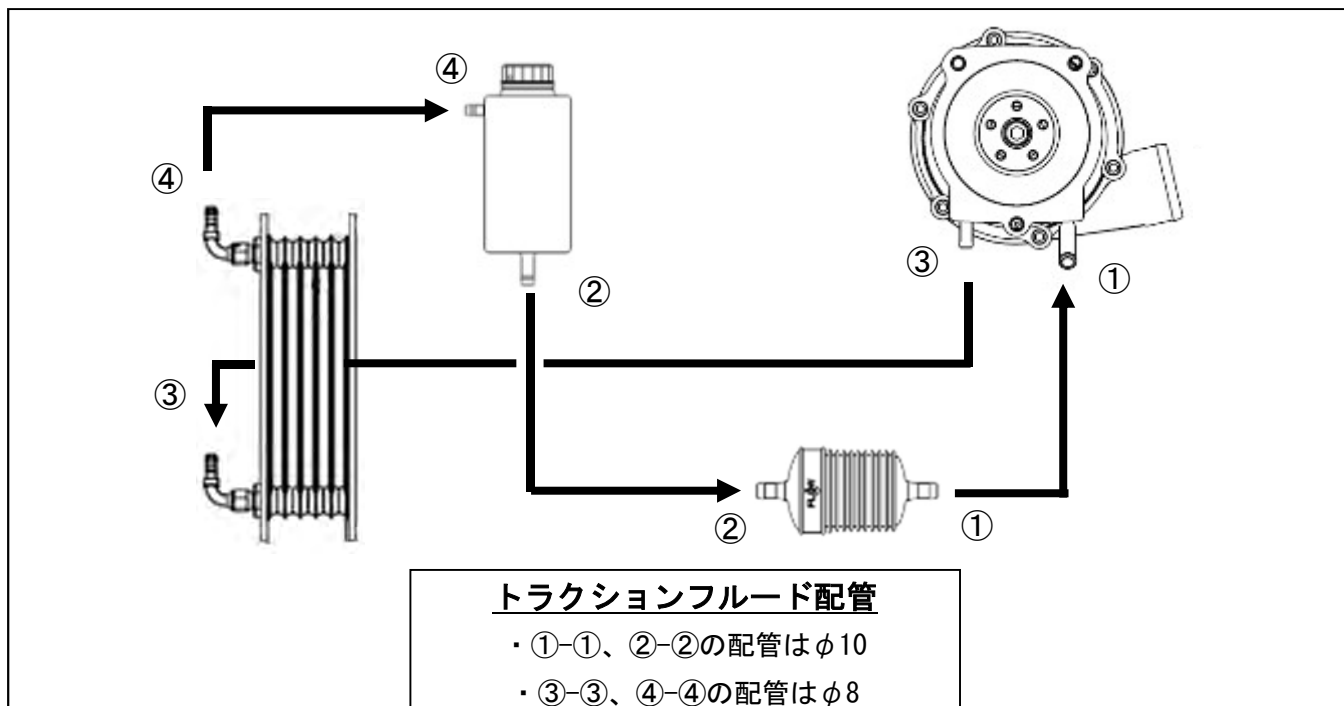


No.	品名	数量
P2	トラクションオイルクーラー	1
P3	トラクションオイルタンク	1
P5	ホースクランプφ10	4
P6	ホースクランプφ8	4
P7	オイルタンクブラケット	1
P8	オイルクーラーブラケット No. 1	1
P9	オイルクーラーブラケット No. 2	1
P10	オイルフィルターブラケット	1
P11	トラクションホース Assy φ10	1
P12	トラクションホース φ8	1
P13	コルゲートチューブ CTUB15	1
P58	シリコンホースφ70	1
P62	ホースバンド#44	2
P80	キャップボルト M6 L15	2
P89	キャップボルト M8 L16	4
P97	フランジナット M8	2
P101	プレーンワッシャーM6	2
P104	プレーンワッシャーM8	6
P107	S/P ワッシャーM8	4

アドバイス

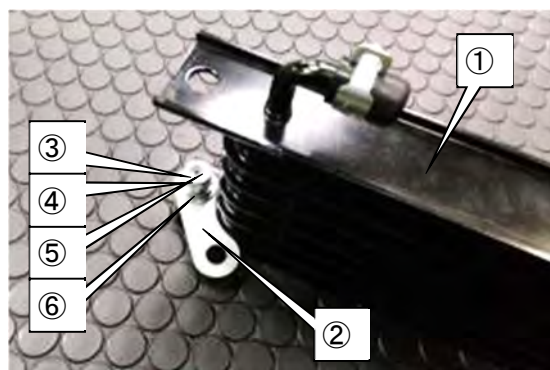
- ・トラクションフルードに異物が混入すると、スーパーチャージャーが破損します。
フルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端、ニップルには栓をして作業を行ってください。

○下図にトラクションフルード配管図を示します。以降の作業は下図を参照し、配管の間違いがないように作業を行ってください。



(1) 付属の①トラクションオイルクーラーに ②オイルクーラーブラケット No. 2 を取付けてください。

- ・ ①トラクションオイルクーラー (P2)
- ・ ②オイルクーラーブラケット No. 2 (P9)
- ・ ③キャップボルト M8 L16 (P89)
- ・ ④S/P ワッシャー M8 (P107)
- ・ ⑤プレーンワッシャー M8 (P104)
- ・ ⑥フランジナット M8 (P97)

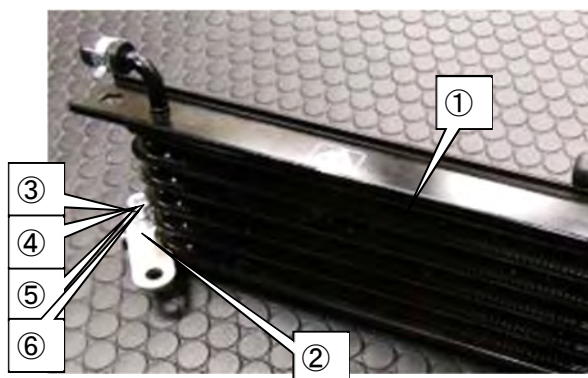


アドバイス

- ・トラクションオイルクーラーのニップルの向きに注意して取付けてください。

(2) 付属の①トラクションオイルクーラーに ②オイルクーラーブラケット No. 1 を取付けてください。

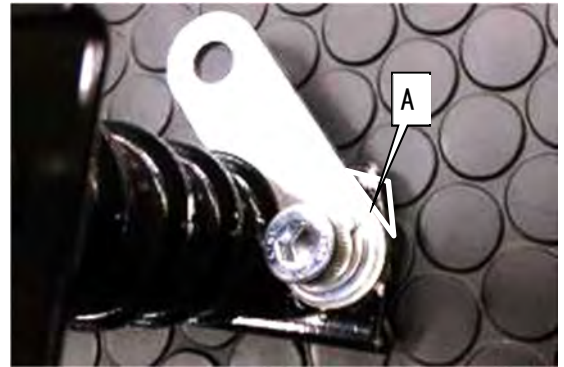
- ・ ①トラクションオイルクーラー (P2)
- ・ ②オイルクーラーブラケット No. 1 (P8)
- ・ ③キャップボルト M8 L16 (P89)
- ・ ④S/P ワッシャー M8 (P107)
- ・ ⑤プレーンワッシャー M8 (P104)
- ・ ⑥フランジナット M8 (P97)



- (3) オイルクーラーブラケット No. 1 からはみ出した図 A 部をオイルクーラーブラケットに沿うようにカットしてください。

アドバイス

- ・オイルクーラーブラケット No. 2 側も同様に作業を行ってください。

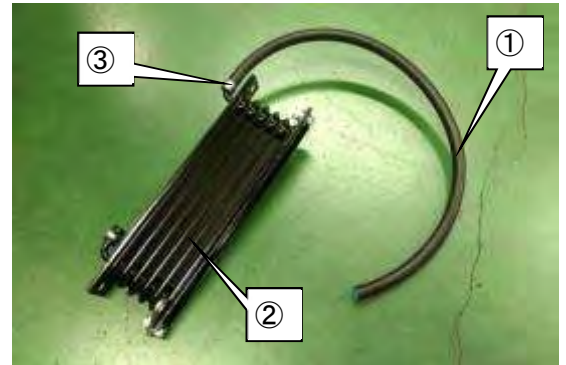


- (4) トラクションホース $\phi 8$ を 600 mm、1700 mm にカットしてください。

- ・トラクションホース $\phi 8$ (P12)

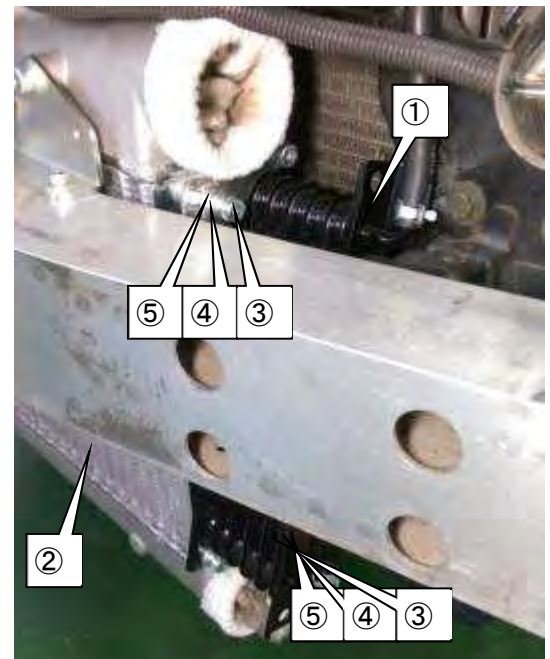
- (5) (4) でカットした①ホース $\phi 8$ 600 mm を②オイルクーラーコア Assy へ取付けてください。

- ・③ホースクランプ $\phi 8$ (P6)



- (6) (5) で組立てた①トラクションオイルクーラーコア Assy を②I/C に取付けてください。

- ・③キャップボルト M8 L16 (P89 × 2)
- ・④S/P ワッシャー M8 (P107 × 2)
- ・⑤プレーンワッシャー M8 (P104 × 4)

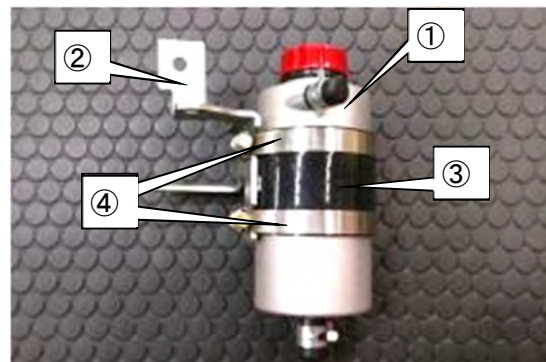


(7) ①キャニスターパージコントロールバルブをブラケットごと車両から取外してください。



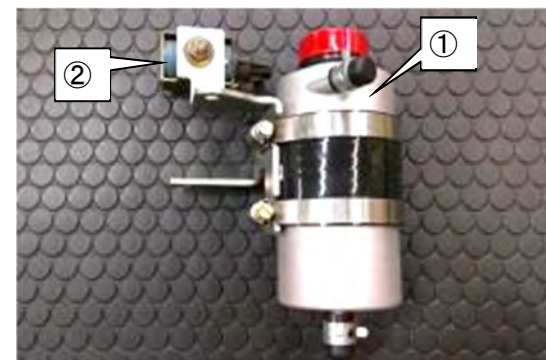
(8) ①トラクションオイルタンクに②オイルタンクブラケットを取付けてください。

- ・ ①トラクションオイルタンク (P3)
- ・ ②オイルタンクブラケット (P7)
- ・ ③シリコンホースφ70 (P58)
- ・ ④ホースバンド#44 (P62×2)



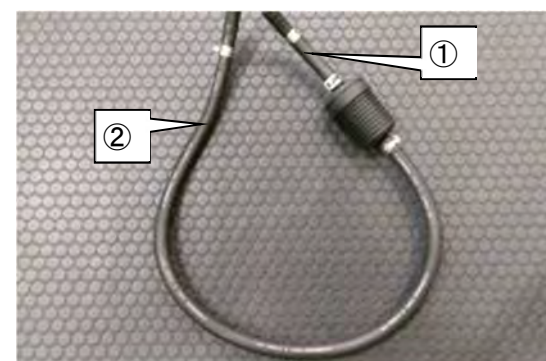
(9) ①トラクションオイルタンクに ②キャニスターパージコントロールバルブを取付けてください。

- ・ 純正ナット

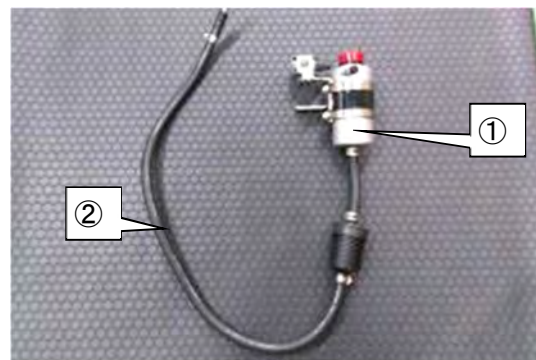


(10) トラクションホース Assy φ10 を①130 mm、②900 mmにカットし、トラクションオイルフィルターに組付けてください。

- ・ トラクションホース Assy φ10 (P11)
- ・ ホースクランプφ10 (P5×4)

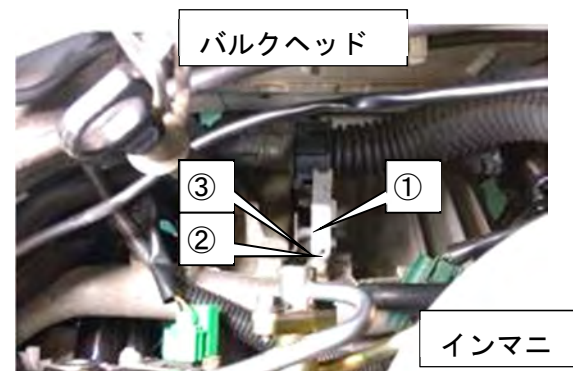


- (11) (9)で組立てた①トラクションオイルタンク Assy へ②トラクションホース Assy φ10 を取付けてください。



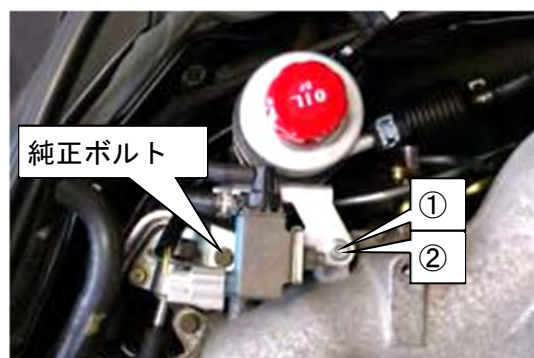
- (12) ①オイルフィルターブラケットをエンジンルーム内に取付けてください。

- ・ ①オイルフィルターブラケット (P10)
- ・ ②キャップボルト M6 L15 (P80)
- ・ ③プレーンワッシャー M6 (P101)



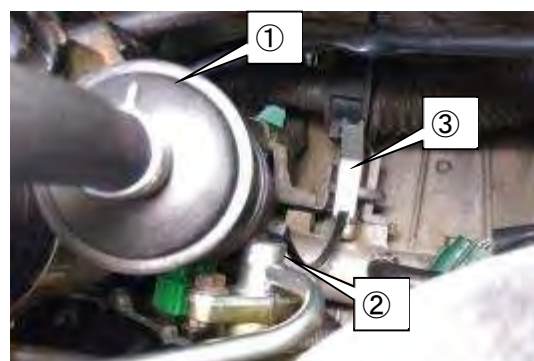
- (13) トラクションオイルタンク Assy をインテークマニフォールドに取付けてください。

- ・ ①キャップボルト M6 L15 (P80)
- ・ ②プレーンワッシャー M6 (P101)



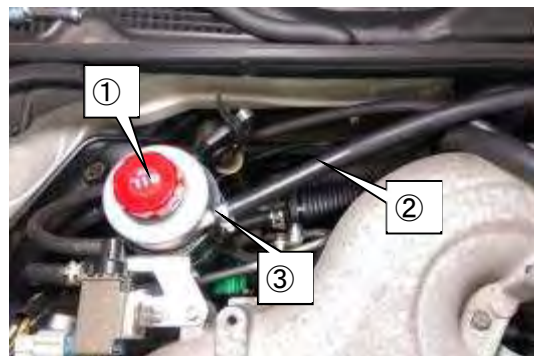
- (14) ①トラクションオイルフィルターを②タイラップ大にて③オイルフィルターブラケットに固定してください。

- ・ ②タイラップ大 (P68)



- (15) ①トラクションオイルタンク Assy へ(4) で切り出した②トラクションホース $\phi 8$ 1700 mmを③ホースクランプ $\phi 8$ を使って取付けてください。

・ホースクランプ $\phi 8$ (P6)

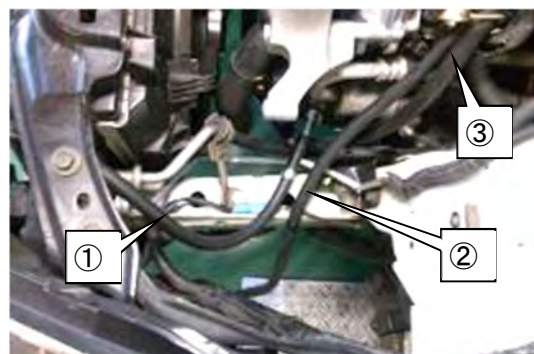
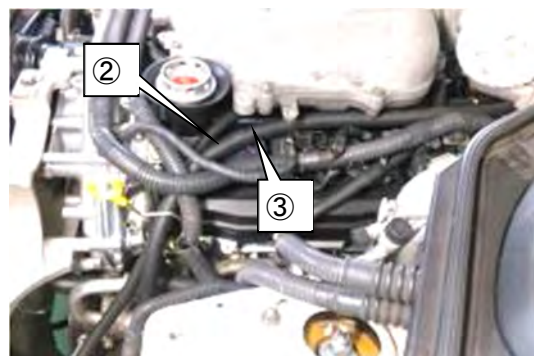


- (16) コルゲートチューブを適当な長さにカットし、それぞれのトラクションホースに巻きつけてください。

・コルゲートチューブ CTUB15 (P13)

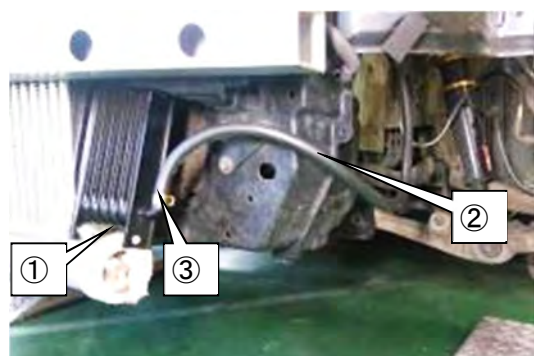
- (17) トラクションオイルタンク Assyに取付けたそれぞれのトラクションホースをインテークマニフォールドの下を這わせ、S/C 取付け位置まで取回してください。

- ①トラクションホース $\phi 8$ 600 mm
- ②トラクションホース $\phi 8$ 1700 mm
- ③トラクションホース $\phi 10$



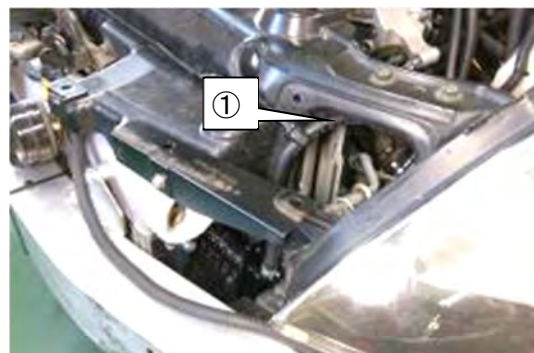
- (18) ①トラクションオイルクーラーコアへ②トラクションホース $\phi 8$ 1700 mmを③ホースクランプ $\phi 8$ を使って取付けてください。

・ホースクランプ $\phi 8$ (P6)



- (19) 付属のタイラップを使用して、(18) までで取回したトラクションホースを他の部品に干渉しない様、約 30 cm 間隔ごとを目安に固定してください。

・①タイラップ中 (P67)



7. スーパーチャージャーの取付け

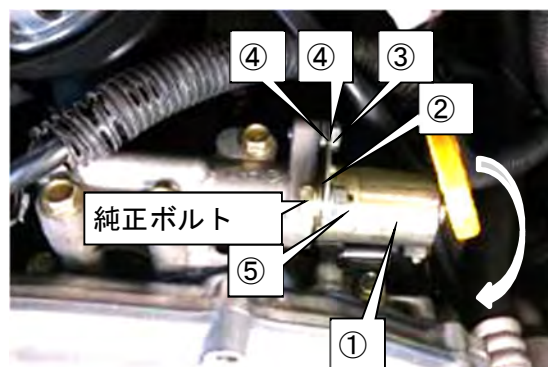
パーツリスト



No.	品名	数量
P1	スーパーチャージャー本体 Assy	1
P15	S/C ブラケット No. 2	1
P16	S/C ブラケット スペーサー	1
P33	ブラケット CVTC ソレノイドバルブ	1
P53	サクショパイプ No. 1	1
P56	リストリクター	1
P57	S/C インレットガスケット	2
P72	サクションホース	1
P73	ホースクランプφ16	2
P74	ジョイントパイプφ16	1
P82	キャップボルト M6 L20	3
P86	キャップボルト M8 L25	5
P88	皿ボルト M8 L40	3
P94	六角ボルト M6 L15	1
P96	フランジナット M6	1
P101	プレーンワッシャーM6	5
P104	プレーンワッシャーM8	5

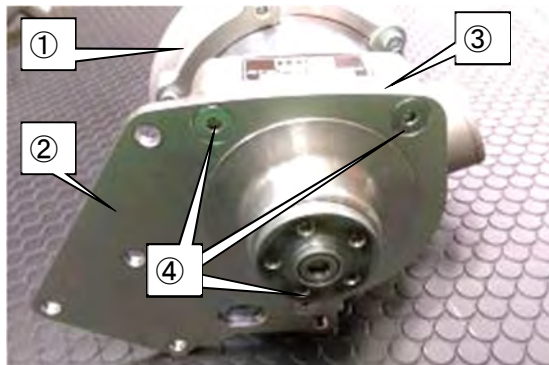
(1) ①CVTC ソレノイドの取付ボルトを取外し、図の矢印の方向へ回転させ、付属の②ブラケット CVTC ソレノイドバルブを使用し、固定してください。

- ・ ②ブラケット CVTC ソレノイドバルブ (P33)
- ・ ③六角ボルト M6 L15 (P94)
- ・ ④プレーンワッシャーM6 (P101×2)
- ・ ⑤フランジナット M6 (P96)



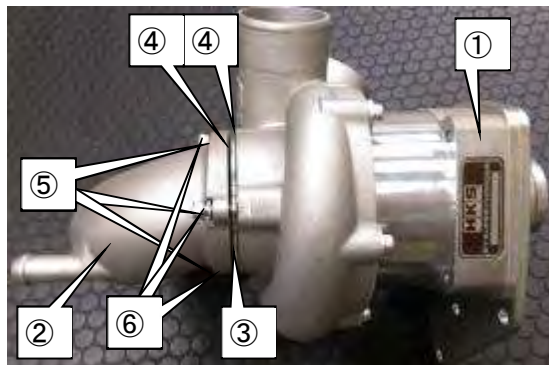
(2) ①スーパーチャージャー本体 Assy へ S/C ブラケット No. 2、S/C ブラケット スペーサーを取付けてください。

- ・ ②S/C ブラケット No. 2 (P15)
- ・ ③S/C ブラケット スペーサー (P16)
- ・ ④皿ボルト M8 L40 (P88×3)



(3) ①スーパーチャージャー本体 Assy へサクシヨンパイプ No. 1、リストリクター、S/C インレットガスケットを取付けてください。

- ・ ②サクシヨンパイプ No. 1 (P53)
- ・ ③リストリクター (P56)
- ・ ④S/C インレットガスケット (P57×2)
- ・ ⑤キャップボルト M6 L20 (P82×3)
- ・ ⑥プレーンワッシャーM6 (P101×3)

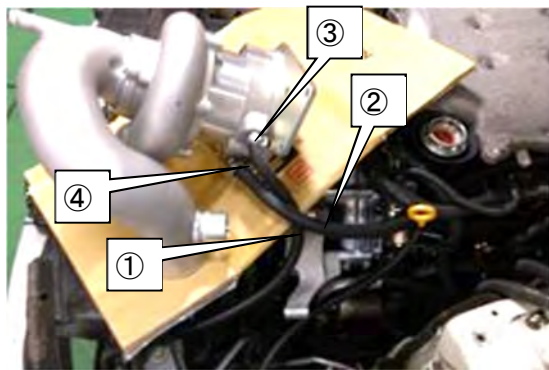


アドバイス

- ・ エンジン内部まで手を加え 400 馬力以上の出力を目指す際はリストリクターを装着する必要はありません。

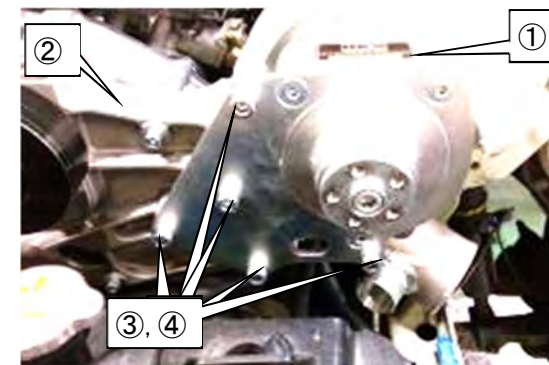
(4) ①スーパーチャージャー本体 Assy へ①トラクションホースφ8 600mm、②トラクションホースφ10をホースクリップを使って取付けてください。

- ・ ③ホースクランプφ8 (P6)
- ・ ④ホースクランプφ10 (P5)



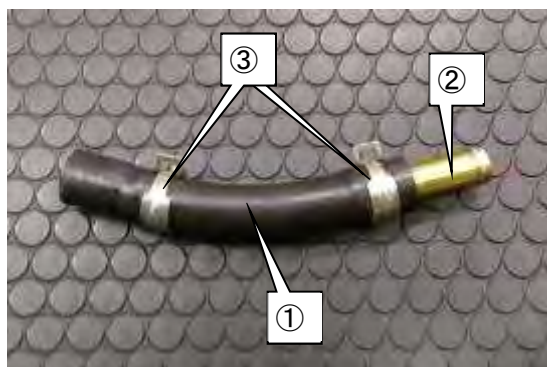
(5) ①スーパーチャージャー本体 Assy を②S/C ブラケット No. 1へ取付けてください。

- ・ ③キャップボルト M8 L25 (P86×5)
- ・ ④プレーンワッシャーM8 (P104×5)

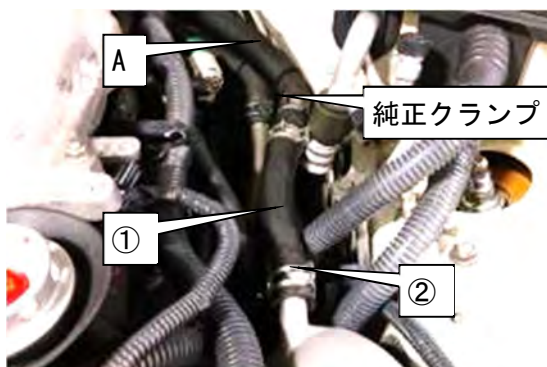


(6) ①サクションホースへ②ジョイントパイプφ16、
③ホースクランプφ16 を取付けてください。

- ・ ①サクションホース (P72)
- ・ ②ジョイントパイプ (P74)
- ・ ③ホースクランプφ16 (P73×2)

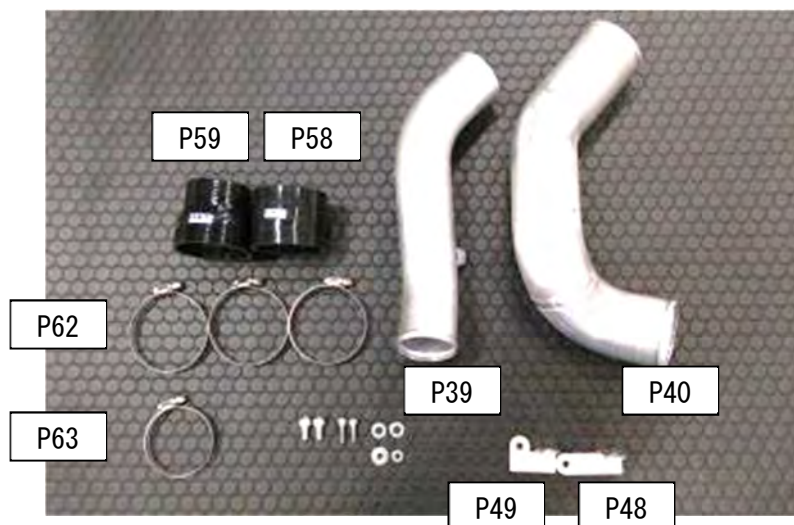


(7) A 純正ブローバイホースへ①サクションホースを、純正
クランプ、②ホースクランプφ16 を用いて、取付けてく
ださい。



8. インタークーラーインパイプの取付け

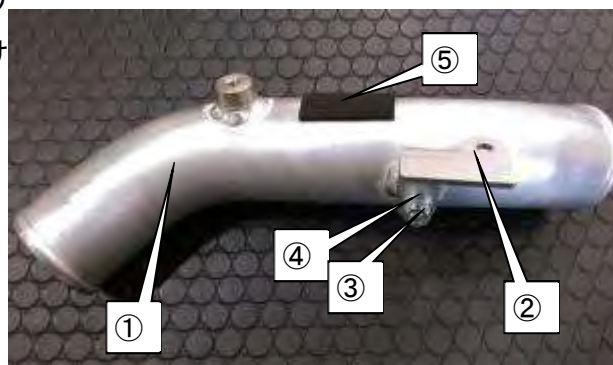
パーツリスト



No.	品名	数量
P39	I/C インレットパイプ No. 1	1
P40	I/C インレットパイプ No. 2	1
P48	I/C インレットパイプブラケット No. 1	1
P49	I/C インレットパイプブラケット No. 2	1
P58	シリコンホースφ70	1
P59	異径シリコンホースφ60-φ70	1
P62	ホースバンド#44	3
P63	ホースバンド#36	1
P82	キャップボルト M6 L20	2
P84	キャップボルト M8 L15	2
P101	プレーンワッシャーM6	1
P102	大径ワッシャーM6	1
P104	プレーンワッシャーM8	2

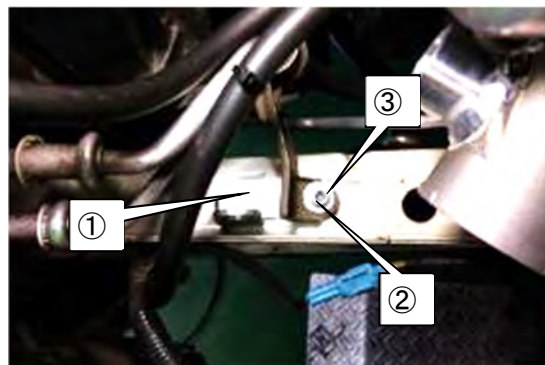
(1) ①I/C インレットパイプ No. 1 へ②I/C インレットパイプ
ブラケット No. 1 を取付け、スポンジシートを張り付け
てください。

- ・ ①I/C インレットパイプ No. 1 (P39)
- ・ ②I/C インレットパイプブラケット No. 1 (P48)
- ・ ③キャップボルト M8 L15 (P84)
- ・ ④プレーンワッシャーM8 (P104)
- ・ ⑤スポンジシート (P69)

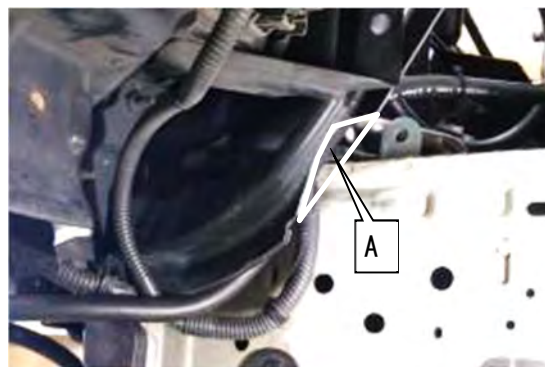


(2) ①I/C インレットパイプブラケット No. 2 を純正のエアコンホースブラケットと共締めしてください。

- ・ ①I/C インレットパイプブラケット No. 2 (P49)
- ・ ②キャップボルト M6 L20 (P82)
- ・ ③大径ワッシャーM6 (P102)

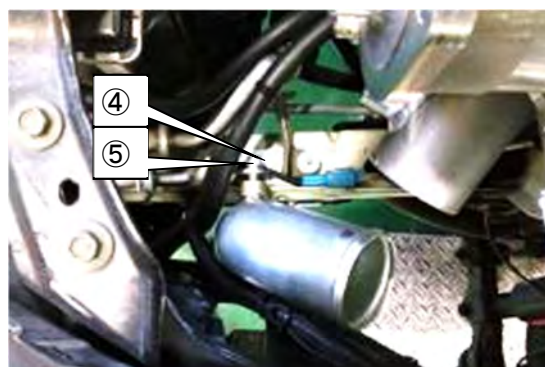
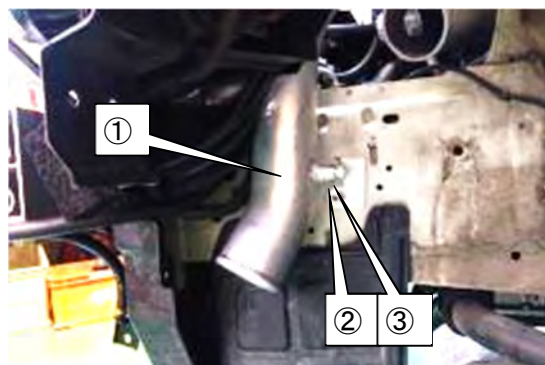


(3) I/C インレットパイプ No. 1 を仮で取付け位置にセットし、干渉する図 A 部をカットしてください。



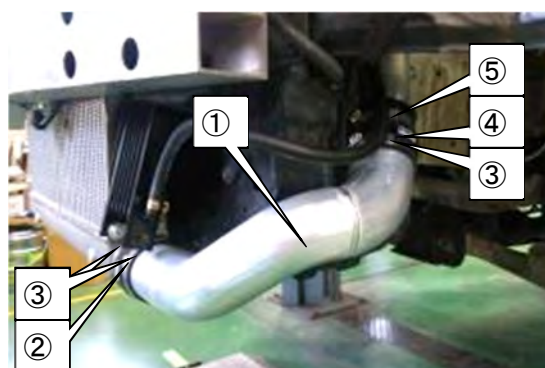
(4) ①I/C インレットパイプ No. 1 を取付けてください。

- ・ ②キャップボルト M6 L20 (P82)
- ・ ③プレーンワッシャーM6 (P101)
- ・ ④キャップボルト M8 L15 (P84)
- ・ ⑤プレーンワッシャーM8 (P104)



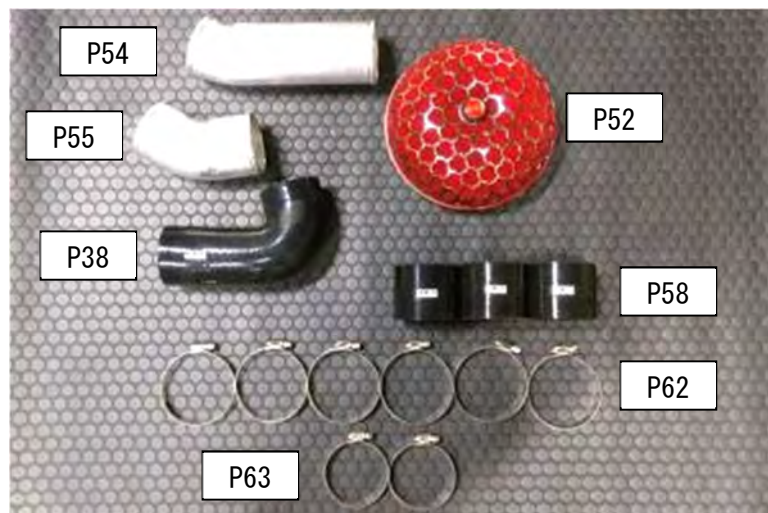
(5) ①I/C インレットパイプ No. 2 を取付けてください。

- ・ ①I/C インレットパイプ No. 2 (P40)
- ・ ②シリコンホースφ70 (P58)
- ・ ③ホースバンド#44 (P62×3)
- ・ ④異径シリコンホースφ60-φ70 (P59)
- ・ ⑤ホースバンド#36 (P63)



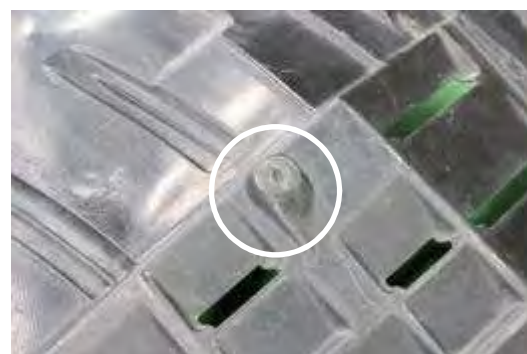
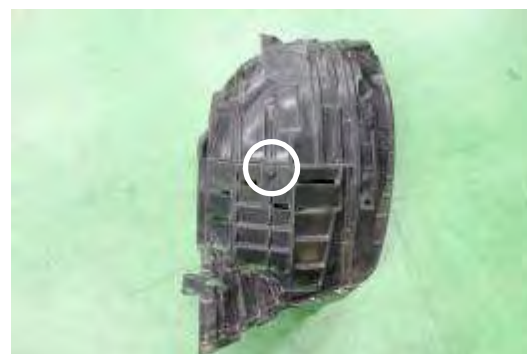
9. サクションパイプの取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P38	I/C インレットホース	1
P52	エアクリナー	1
P54	サクションパイプ No. 2	1
P55	サクションパイプ No. 3	1
P58	シリコンホース φ70	3
P62	ホースバンド #44	6
P63	ホースバンド #36	2

(1) 純正の左インナーフェンダーの丸部分を削り落としてください。



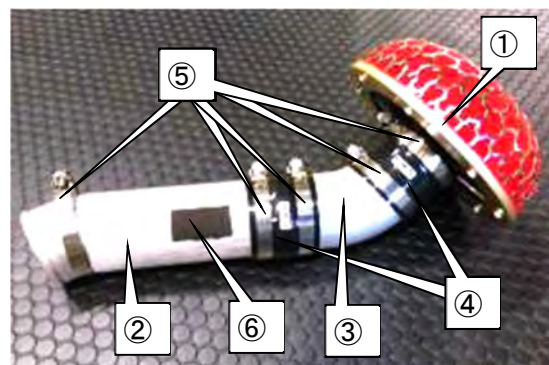
(2) S/C 本体 Assy にシリコンホースを取付けてください。

- ・ ①シリコンホースφ70 (P58)
- ・ ②ホースバンド#44 (P62)



(3) ①エアクリーナーに②サクションパイプ No. 2、③サクションパイプ No. 3 を取付け、スポンジシートを張り付けてください。

- ・ ①エアクリーナー (P52)
- ・ ②サクションパイプ No. 2 (P54)
- ・ ③サクションパイプ No. 3 (P55)
- ・ ④シリコンホースφ70 (P58)
- ・ ⑤ホースバンド#44 (P62)
- ・ ⑥スポンジシート (P69)



(4) (3) で組立てたサクションパイプ Assy を S/C 本体 Assy に取付けてください。



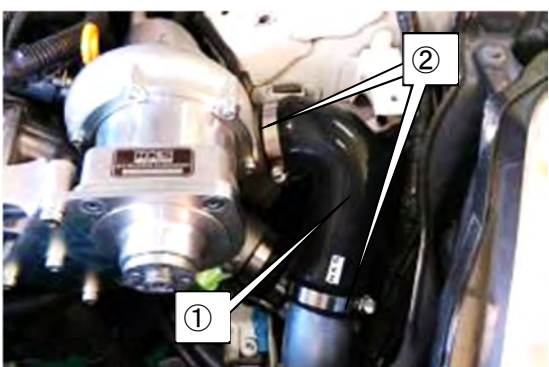
(5) サクションパイプ Assy がボディと干渉しないよう、スポンジをボディに張り付けてください。

- ・ ①スポンジ (P70)



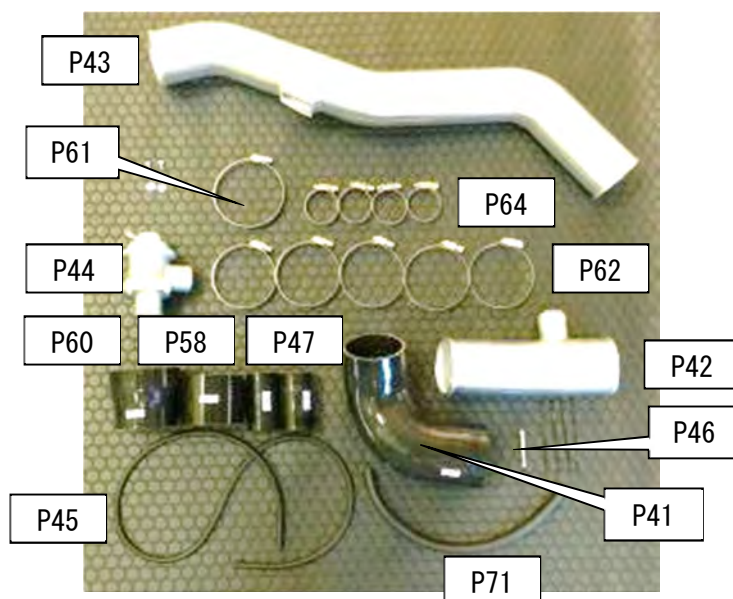
(6) ①I/C インレットホースを取付けてください。

- ・ ①I/C インレットホース (P38)
- ・ ②ホースバンド#36 (P63)



10. インタークーラーアウトパイプの取付け

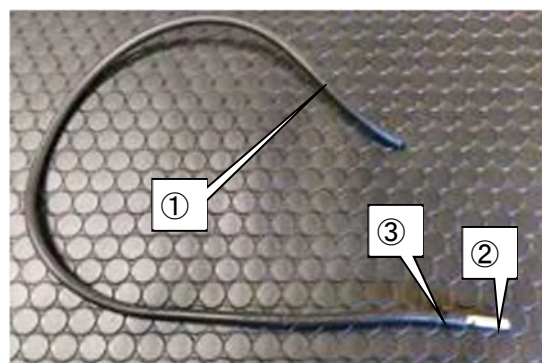
パーツリスト



No.	品名	数量
P41	I/C アウトレットホース	1
P42	I/C アウトレットパイプ No. 1	1
P43	I/C アウトレットパイプ No. 2	1
P44	ブローオフバルブ	1
P45	ホースφ4	1
P46	ジョイントパイプφ4-φ6	1
P47	シリコンホースφ35	2
P58	シリコンホースφ70	1
P60	異径シリコンホースφ70-φ80	1
P61	ホースバンド#48	1
P62	ホースバンド#44	5
P64	ホースバンド#16	4
P71	ホースφ6	1
P77	キャップボルト M4 L12	2
P100	スペーサーM4	2

(1) ①ホースφ4 を 770 mm にカットし、②ジョイントパイプφ4-φ6 を取付けてください。

- ・ ①ホースφ4 (P45)
- ・ ②ジョイントパイプφ4-φ6 (P46)
- ・ ③タイラップ小 (P66)



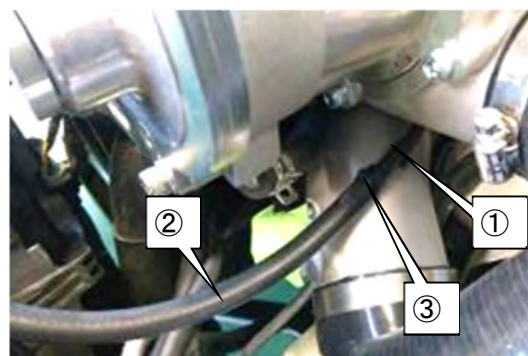
- (2) (1)で組立てた①ホースφ4 をインテークマニフォールドに接続し、タイラップで固定してください。

- ・ ②タイラップ小 (P66)



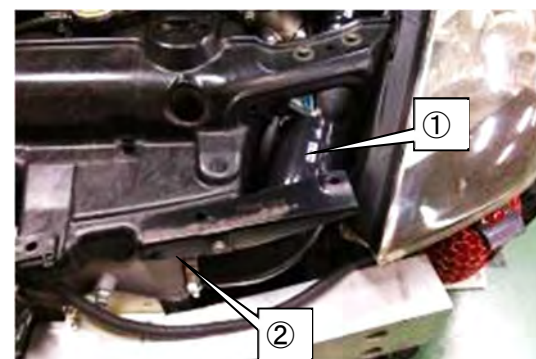
- (3) ②ホースφ6 を 350 mmにカットし、(2) で取付けた①ホースへ取付けてください。

- ・ ②ホースφ6 (P71)
- ・ ③タイラップ小 (P66)



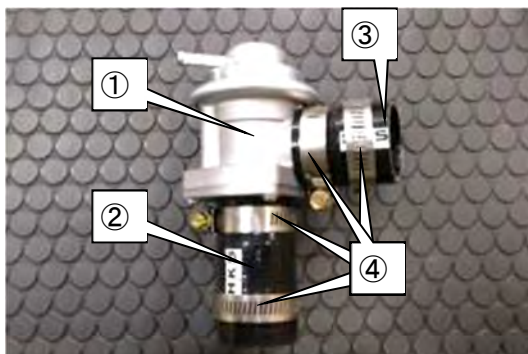
- (4) ①I/C アウトレットホースを取付けてください。

- ・ ①I/C アウトレットホース (P41)
- ・ ②ホースバンド#44 (P62)



- (5) ①ブローオフバルブに②シリコンホースφ35、③シリコンホースφ35 (50mm にカット) を取付けてください。

- ・ ①ブローオフバルブ (P44)
- ・ ②シリコンホースφ35 (P47)
- ・ ③シリコンホースφ35 (50mm にカット) (P47)
- ・ ④ホースバンド#16 (P64×4)



- (6) (5)で組立てた①ブローオフバルブを②サクションパイプ No. 1 に仮付けしてください。



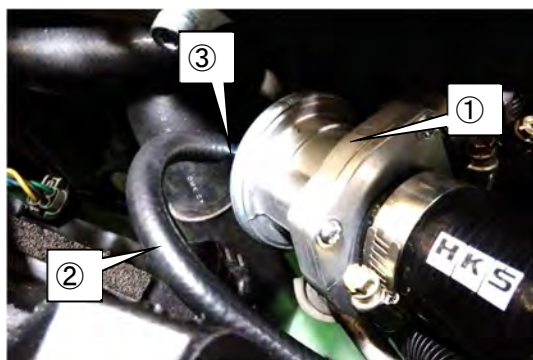
(7) ①I/C アウトレットパイプ No. 1 を取付け、(6) で仮付けしたブローオフバルブを取付けてください。

- ・ ①I/C アウトレットパイプ No. 1 (P42)
- ・ ②ホースバンド#44 (P62)



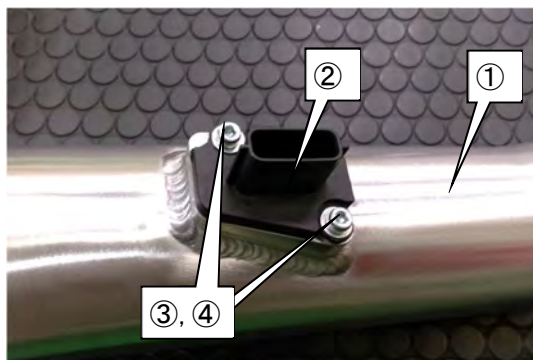
(8) ①ブローオフバルブへ(3)で取付けた②ホースφ6を取付けてください。

- ・ ③タイラップ小 (P66)



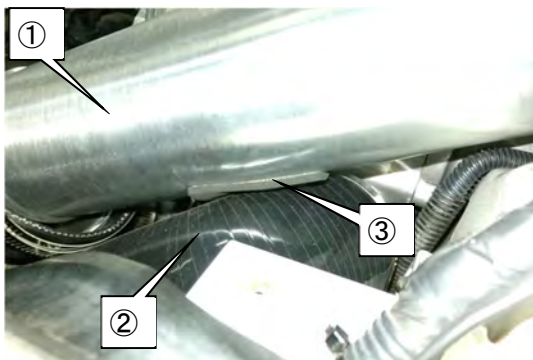
(9) ①I/C アウトレットパイプ No. 2 に 1 章で取外した②エアフロセンサーを取付けてください。

- ・ ①I/C アウトレットパイプ No. 2 (P43)
- ・ ③キャップボルト M4 L12 (P77)
- ・ ④スペーサーM4 (P100)



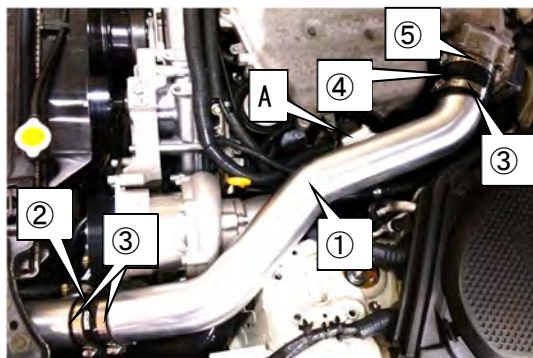
(10) ①I/C アウトレットパイプ No. 2 を仮置きし、I/C インレットホースと干渉する箇所にスポンジシートを張り付けてください。

- ・ ③スポンジシート (P69)



(11) ①I/C アウトレットパイプ No. 2 を取付けてください。この際、A 部エアフロセンサーカプラーを取付けるのを忘れないでください。

- ・ ②シリコンホースφ70 (P58)
- ・ ③ホースバンド#44 (P62)
- ・ ④異径シリコンホースφ70-φ80 (P60)
- ・ ⑤ホースバンド#48 (P61)



1 1. S/C プーリー&ベルトの取付け

- (1) ①のキャップボルト M6 L18 4本が、トルク 11.7~13.7 (1.2~1.4)N・m(kgf・m) で締付けてあることを再確認してください。



注意

- ・必ずトルクレンチを使用して、ボルトの締付けを確認してください。締付け力が不足または高すぎた場合、キャップボルト M6 L18 が破損し、運転中にアイドラーパーリーNo.1 が脱落する可能性があります。



- (2) 目標の出力に応じて、ご購入いただいた S/C プーリーを本 S/C プロキット付属の、①キャップボルトヘキサゴンを用いて取付けてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=10(1.02)

アドバイス

- ・各プーリーに対応したベルトは下記表を参考にしてください。

S/C プーリー径	HKS 品番	ベルト	HKS 品番
φ100	12999-AK005	7PK1070	24996-AK038
φ110	12999-AK006	7PK1092	24996-AK039



- (3) ①のベルトを取付けてください。
S/C プーリーは8リブのうち車両後方側の7リブを使用します。

- (4) 張力計を使用して、次ページ表1 ベルト張力の①新品時の張力でベルトを張ってください。(表1)

アドバイス

- ・ベルトの張力測定には(株)三ツ星ベルト製 非接触型音波式張力計ドクターテンション タイプ-IVをお勧めします。最寄での入手が困難な場合には弊社までお問い合わせください。

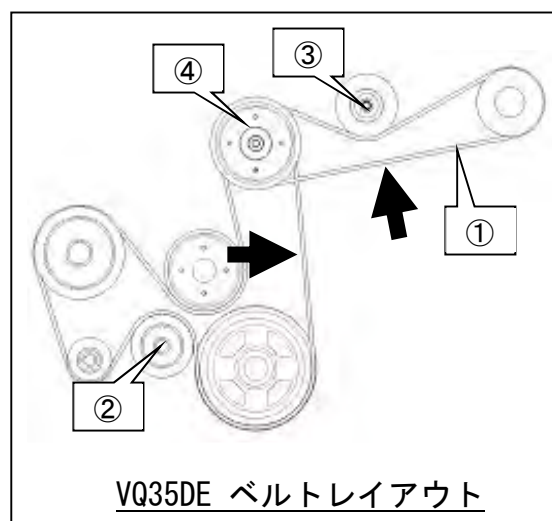
締付けトルク N・m(kgf・m)

純正アイドラ固定 ナット(図中②)

T=31.4~38.2(3.2~3.9)

テンショナープーリー固定ナット(図中③)

T=31.4~38.2(3.2~3.9)



- (5) アイドラープーリーNo. 2 (図中④) のボルト M6 (4 本) を本締めしてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

$$T=5.9\sim 9.8(0.61\sim 0.99)$$

アドバイス

- ・ベルトは使用開始後、使用状況により 2～20 時間で張力が安定します。
張力安定後は次ページの“表 1 ベルト張力”の②使用中の基準値になるように点検、調整を行ってください。
- ・使用開始直後はベルトの伸びも大きいため、こまめに点検、調整を行ってください。

表 1 ベルト張力

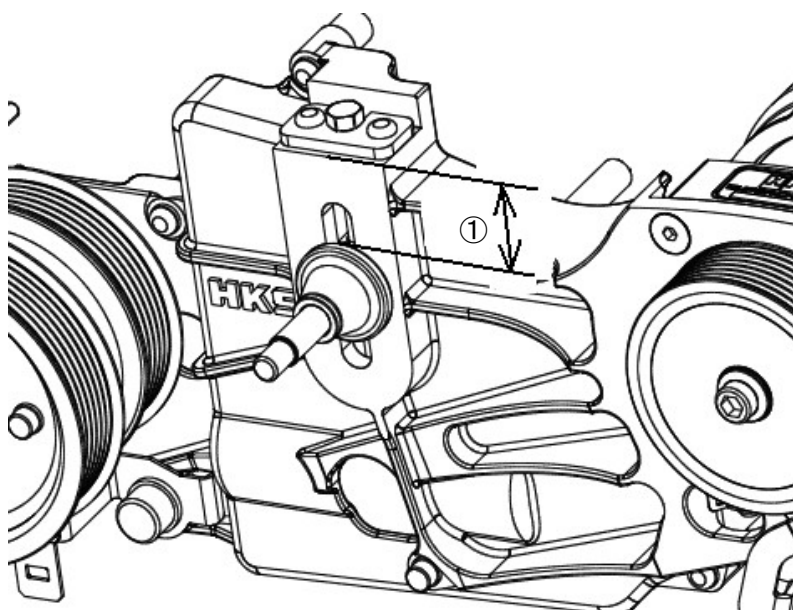
ベルト	ベルトスパン	①新品時 (N { kg })	②使用中 (N { kg })
6PK1700 (クランクプーリー側)	295mm	950 (97.0)	760 (77.6)
7PK1070 or 7PK1092 (スーパーチャージャー側)	348mm	790 (80.6)	630 (64.3)

※ 1) ベルトスパンは、ベルトレイアウト図の矢印部で張力を測定する際の、プーリー軸間距離

※ 2) ベルトの比重 0.0188kg / (1 リブ×1m 長さ)

⚠ 注意

- ・ベルトがプーリーの溝にしっかり合っていることを確認してください。
溝にしっかりとあっていない場合、ベルトが傷つき、破損する恐れがあります。
- ・ベルト取付け直後の張り点検は、基準値に調整後、プーリー間張力のバラツキをなくすため、クランクシャフトを 2 回転以上回して再測定し、基準値に調整してください。
- ・オイル、冷却水等が付着しないように取扱ってください。
- ・ベルトを規定値の張力で張っていないと、ボンネットとテンショナープーリーが干渉する場合があります。
ボンネットを閉じる前に、図中①の寸法が 35mm 以上であることを確認してください。



1 2. ノーマルパーツの取付け

- (1) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。
- (2) ホーンを 2～3 回鳴らし、ホーンのヒューズが切れないことを確認してください。
ヒューズが切れる場合にはホーンの配線が誤っている場合があります。
- (3) ホーンが作動することが確認できたら、バッテリーのマイナス端子を取外してください。
- (4) バンパーを取付けてください。

-
- (5) エンジンカバーがスーパーチャージャーブラケット、プーリーと干渉する部分を切取り、エンジンに取付けてください。
 - (6) ストラットタワーバーを取付けてください。この際必要に応じて I/C アウトレットパイプ No.2 と干渉する部分にスポンジシートを張り付けてください。

- ・スポンジシート (P69)



-
- (7) エンジンアンダーカバーを取付けてください。
アドバイス
・エンジンアンダーカバーは必ず取付けてください。
 - (8) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

-
- (9) F-con iS や F-con Vpro などのセッティングツールを使用して、エンジンが始動できる環境を整えてください。

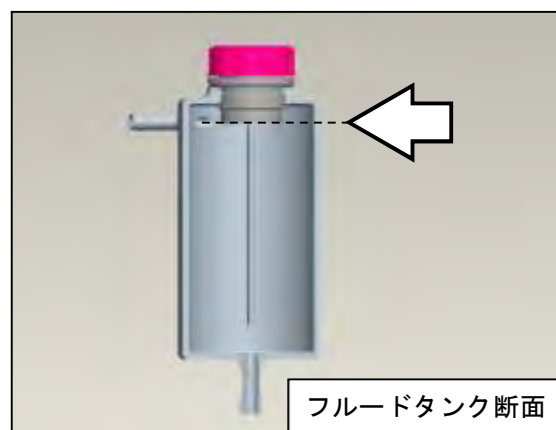
13. トラクションフルードの注入

パーツリスト			
 P4	No.	品名	数量
	P4	トラクションフルード	1

アドバイス

- ・本作業を実施せずにエンジンを始動した場合、スーパーチャージャー内部が破損する恐れがありますので、必ず作業を行ってください。
- ・スーパーチャージャーの内部構成部品は精密部品です。トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーが破損します。トラクションフルード配管の作業中、ホースやタンクに異物が混入しないように作業を行ってください。

- (1) フルードタンク内に異物が無い事を確認し、
 図中矢印のフルードタンク内リターンパイプ下面まで、
 トラクションフルード（約 500ml）を注入して、
 キャップを一旦取付けてください。
 ※タンク容量は約 350ml であるため、始めに約 350ml
 注入し、油面が低下したのを確認して残りの 150ml
 を注入してください。
- ・トラクションフルード（P4）



- (2) フルードタンクのキャップを取付けてください。

1 4. 取付け後の確認

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行ってください。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

	確認項目	確認
1	トラクションフルード配管が正しく行われているか。	
2	ハーネス及び取付けた部品が各部に干渉していないか。	
3	各ハーネスを強くはさんでいないか。	
4	ベルトが指定の張力で張られているか。	
5	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
6	トラクションフルードをフルードタンクに約 500ml 注入したか。	
7	パイプ・ホース類の配管が間違っていないか。	
8	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
9	ホースバンドが確実に締まっているか。	
10	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
11	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	
12	バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
13	エンジンオイルがレベルゲージのH～Lの間にあるか。	

(2) トラクションフルードをビーカー等に約 80ml 準備しておき、エンジンを始動してください。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施してください。

- フルードタンク内のフルードレベルが下がり始め、フルードタンクにトラクションフルードが戻ってくる事を確認してください。
 - フルードタンク内のトラクションフルードが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションフルードを継ぎ足してください。その際、タンクからあふれないようにしてください。
- ※ エンジン始動直後、暖気中にスーパーチャージャーから“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションフルードが暖まった約 2～3 分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません。

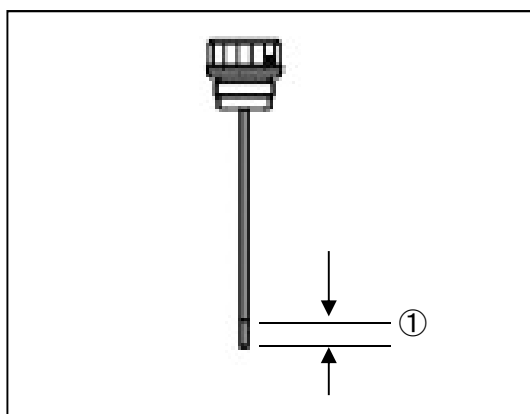
(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認してください。

アドバイス

- ・暖気中はエンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

	確認項目	確認
1	フルードタンクにトラクションフルードが戻っているか。	
2	各部からトラクションフルード、エアが漏れていないか。	
3	ハーネス、ホース類が引っ張られていないか。	
4	部品による干渉音が無いか。	

- (5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を10秒間2000rpmに維持し、速やかにエンジンを停止して、トラクションフルードがレベルゲージの下端からマーキング（図中①）までの間にあるかを確認し、過不足を調整してください。
- (6) トラクションフルードのレベル調整が終わったら、キャップを締めてください。



以上で取付け作業は終了です。

- ※ 残ったトラクションフルードはトラクションフルードが入っていた容器でキャップをして保存してください。
トラクションフルードは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<http://www.hks-power.co.jp/>